

「食」をめぐる現状

農林水産省
消費・安全局
消費者行政・食育課

目次

1. 社会経済状況

人口構成	1
世帯構造	4
ソーシャルメディアの普及	8

2. 健康寿命の延伸に関する状況

平均寿命と健康寿命	12
死亡の状況と原因	16
肥満とやせの状況	19

3. 栄養・食生活に関する状況

主食・主菜・副菜の摂取状況	21
食品の摂取状況	23
栄養素等摂取状況	25
消費の状況	31

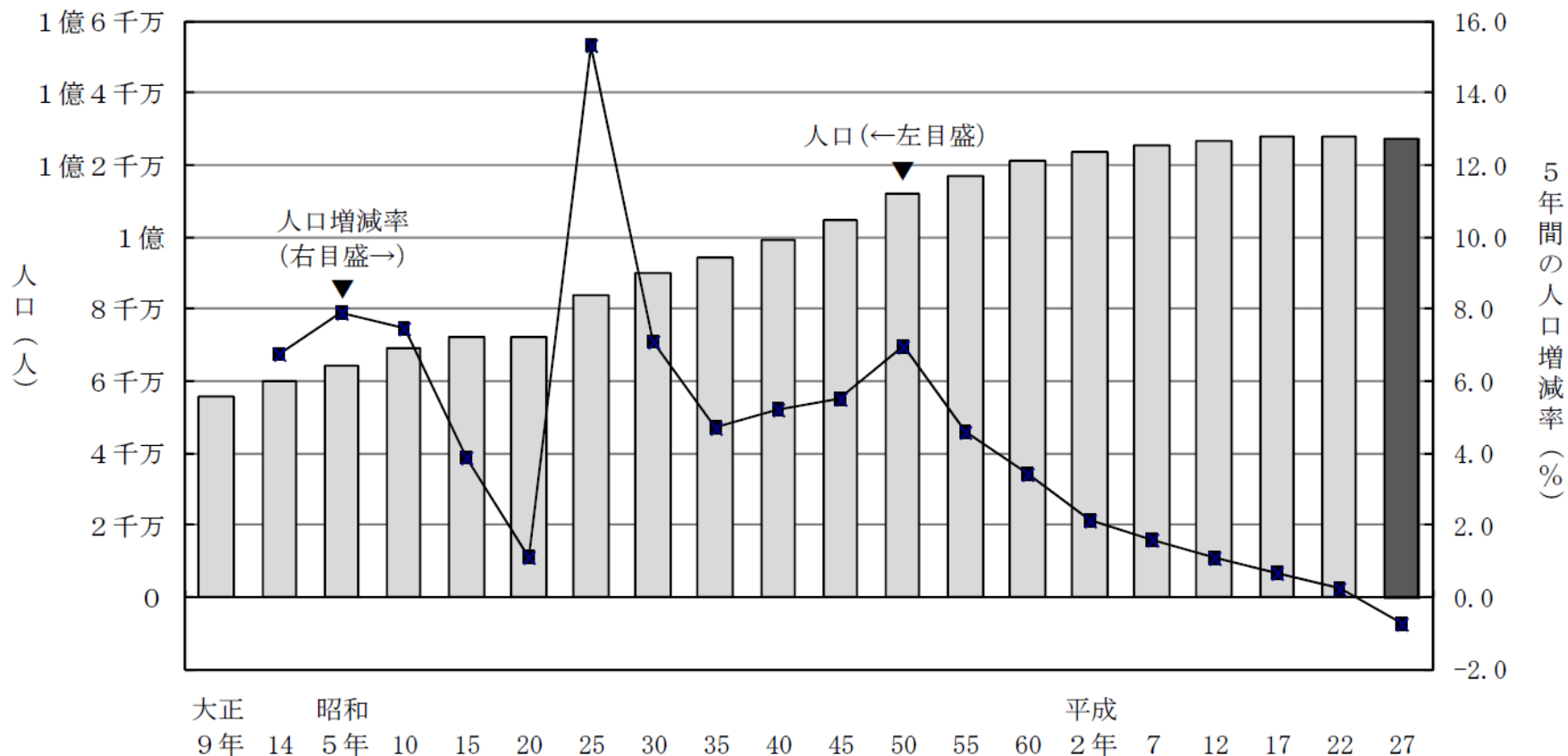
4. 食料資源の現状 34

1. 社会經濟狀況

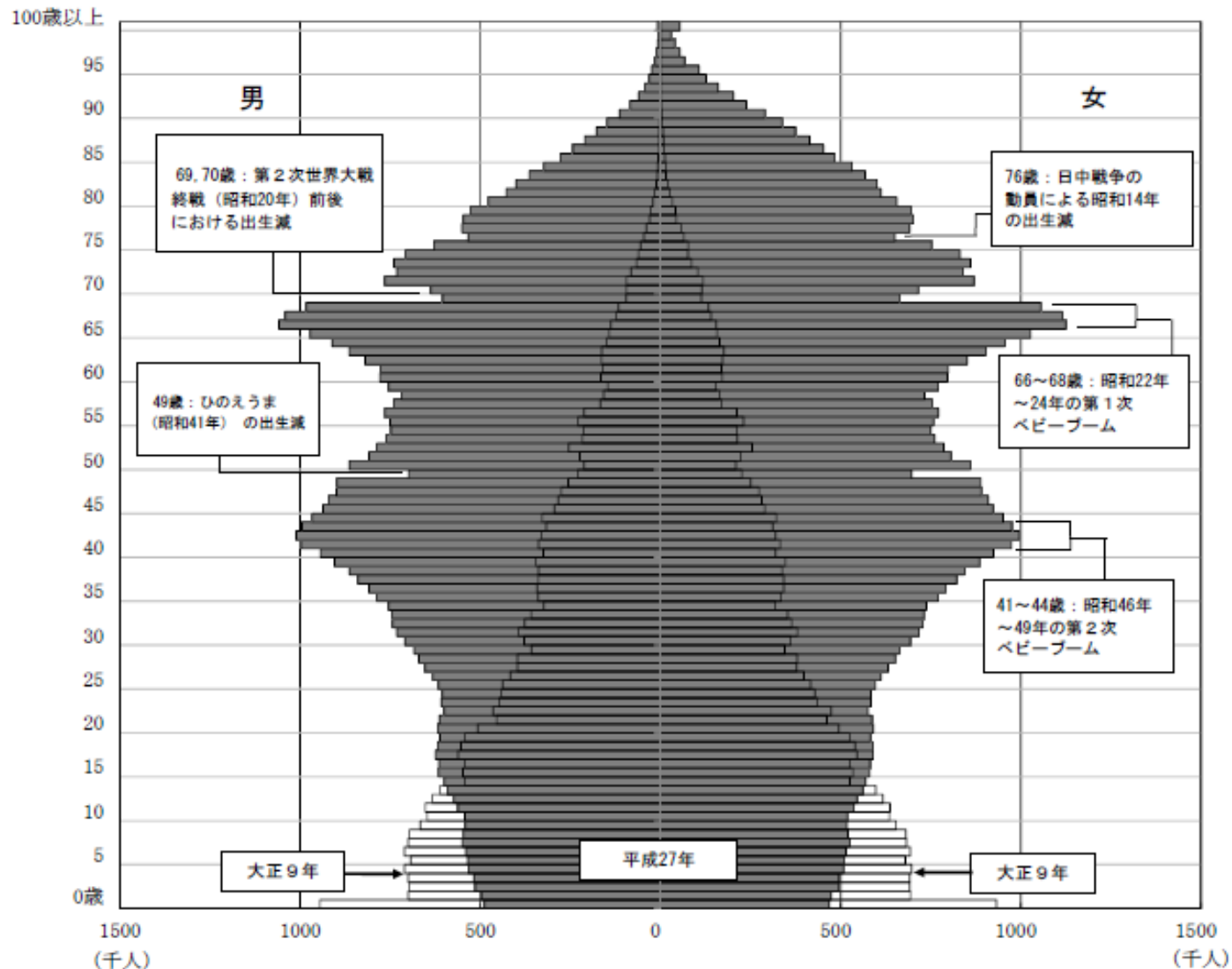
人口構成

我が国の人口推移

人口及び人口増減率の推移－全国（大正9年～平成27年）



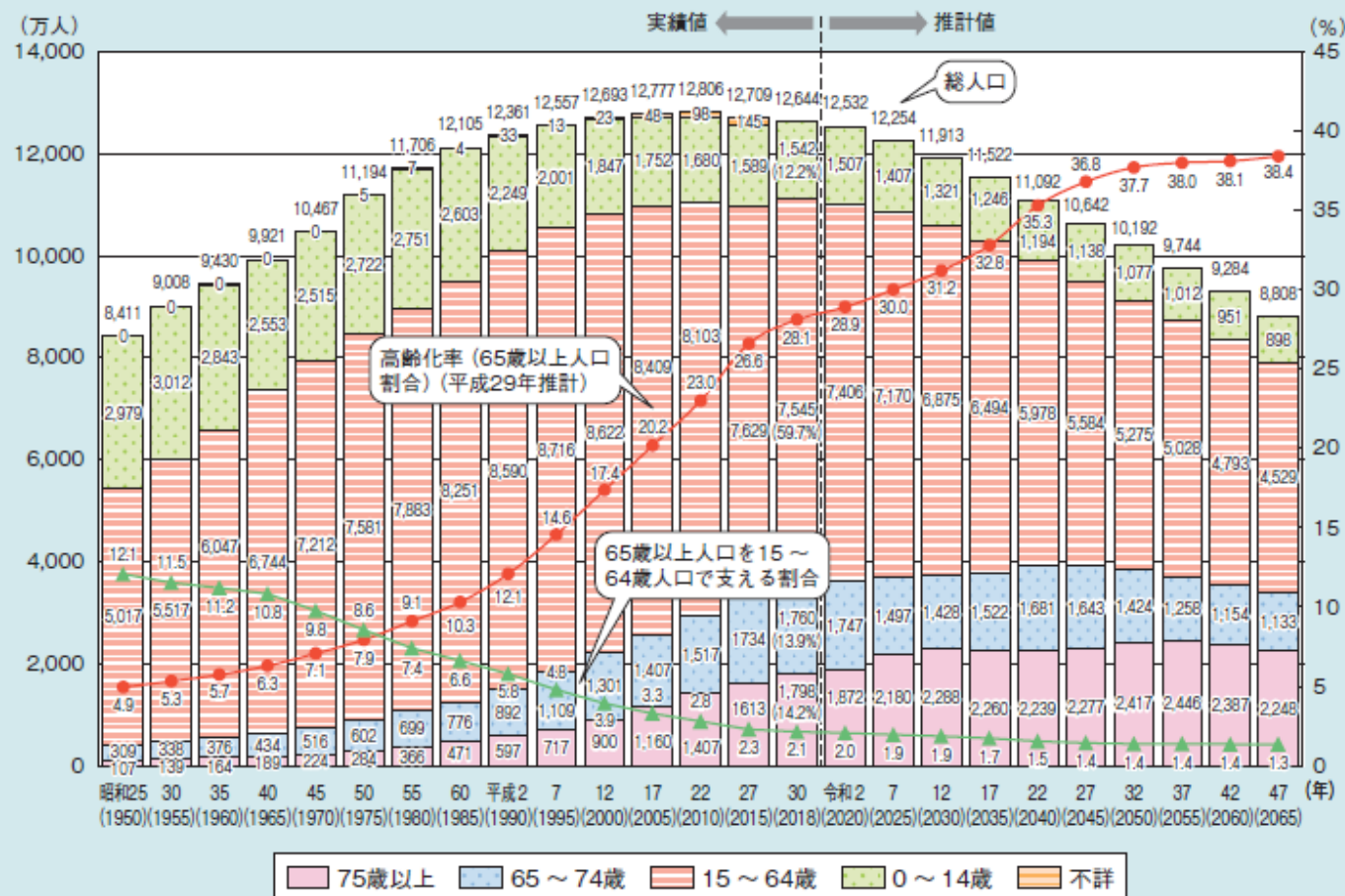
我が国の人口ピラミッドの推移



出典：総務省「平成27年 国勢調査」

<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/kekka/kihon1/pdf/gaiyou1.pdf>

高齢化の推移と将来推計



資料：棒グラフと実線の高齢化率については、2015年までは総務省「国勢調査」、2018年は総務省「人口推計」（平成30年10月1日確定値）、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果。

（注1）2018年以降の年齢階級別人口は、総務省統計局「平成27年国勢調査 年齢・国籍不詳をあん分した人口（参考表）」による年齢不詳をあん分した人口に基づいて算出されていることから、年齢不詳は存在しない。なお、1950年～2015年の高齢化率の算出には分母から年齢不詳を除いている。

（注2）年齢別の結果からは、沖縄県の昭和25年70歳以上の外国人136人（男55人、女81人）及び昭和30年70歳以上23,328人（男8,090人、女15,238人）を除いている。

（注3）将来人口推計とは、基準時点までに得られた人口学的データに基づき、それまでの傾向、趨勢を将来に向けて投影するものである。基準時点以降の構造的な変化等により、推計以降に得られる実績や新たな将来推計との間には乖離が生じうるものであり、将来推計人口はこのような実績等を踏まえて定期的に見直すこととしている。

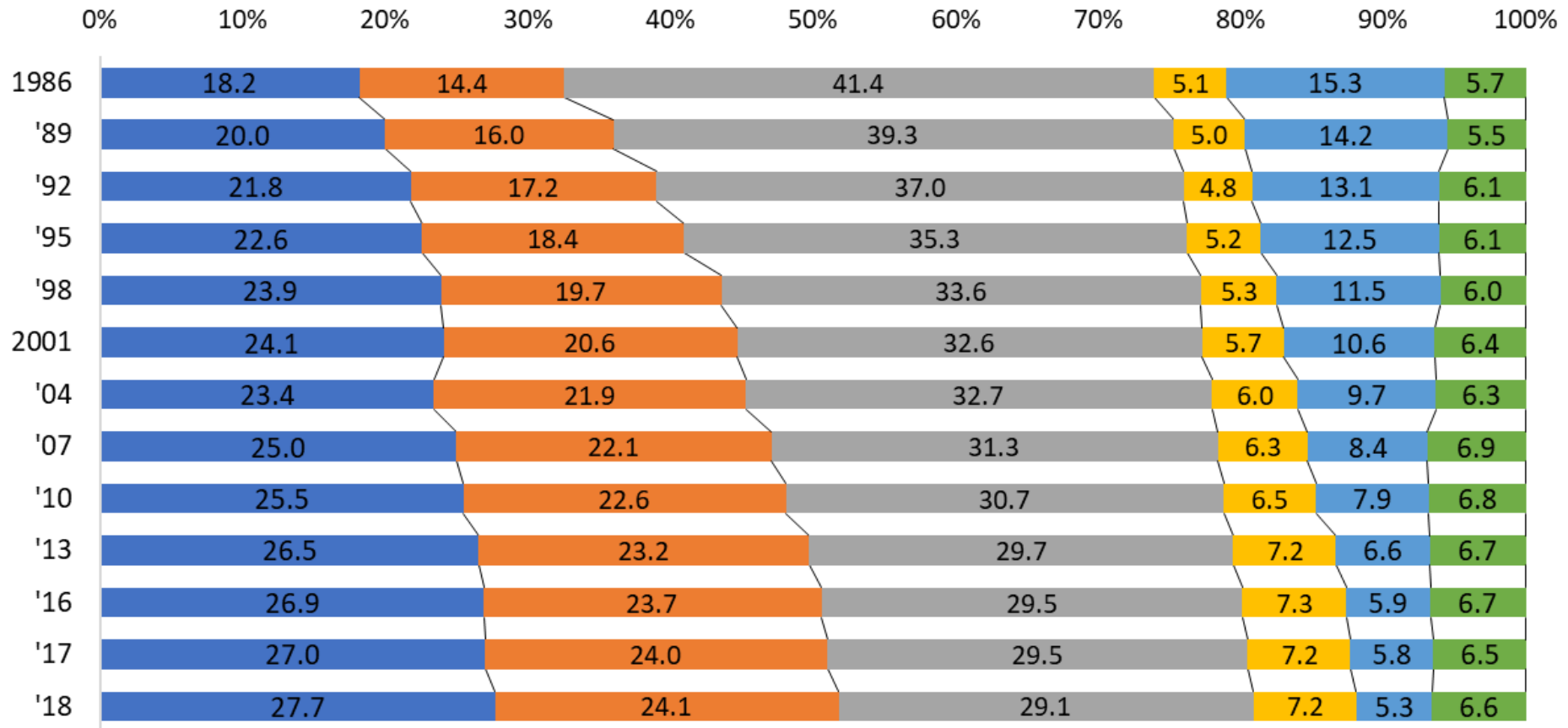
出典：出典：内閣府「令和元年度 高齢社会白書」

https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2019/zenbun/pdf/1s1s_01.pdf

1. 社会經濟狀況

世帯構造

各世帯構造の年次推移

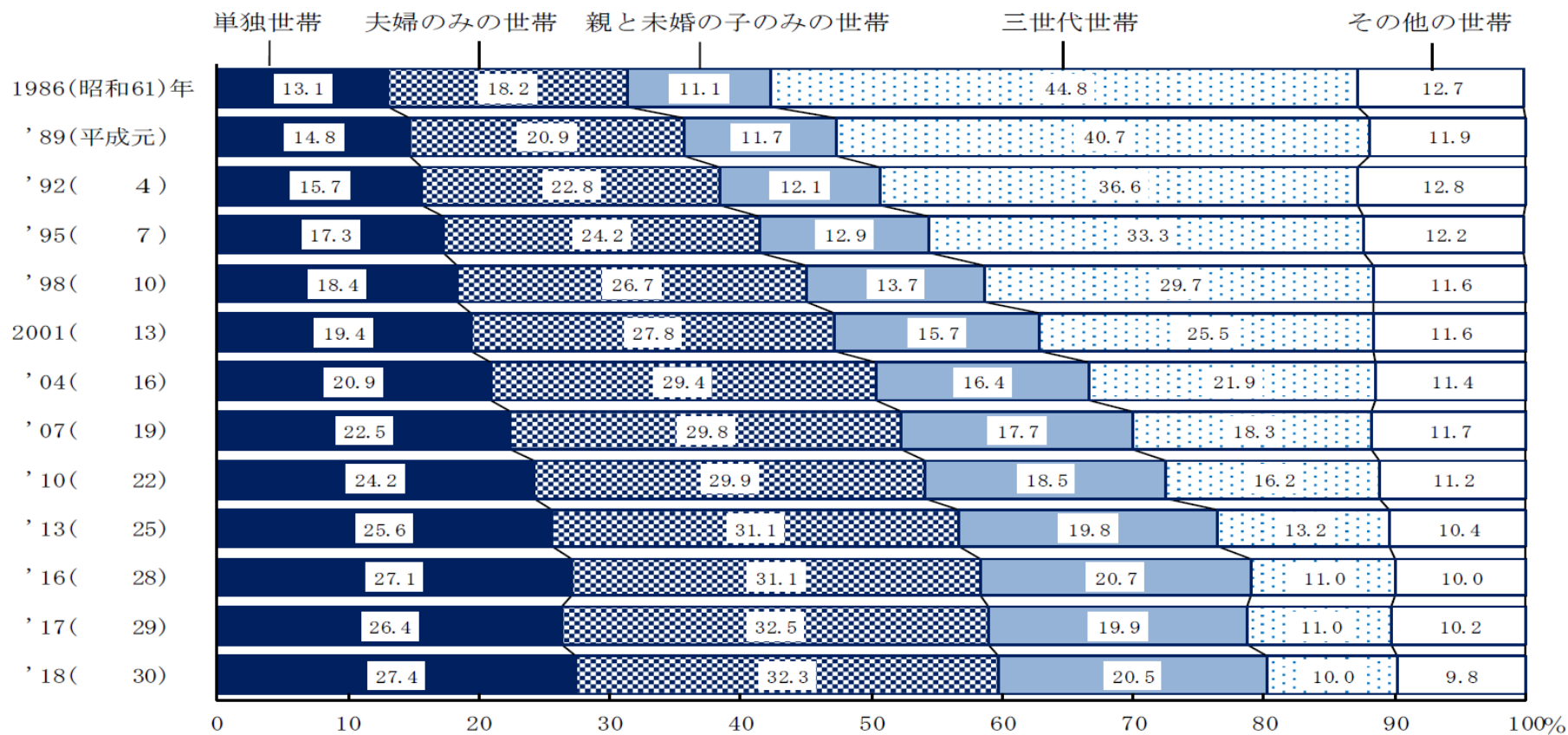


■ : 単独世帯
 ■ : 夫婦のみの世帯
 ■ : 夫婦と未婚の子のみの世帯
■ : ひとり親と未婚の子のみの世帯
 ■ : 三世代世帯
 ■ : その他の世帯

資料：厚生労働省「平成30年 国民生活基礎調査」

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa18/dl/02.pdf>

65 歳以上の者のいる世帯の世帯構造の年次推移



注：1) 1995(平成7)年の数値は、兵庫県を除いたものである。

2) 2016(平成28)年の数値は、熊本県を除いたものである。

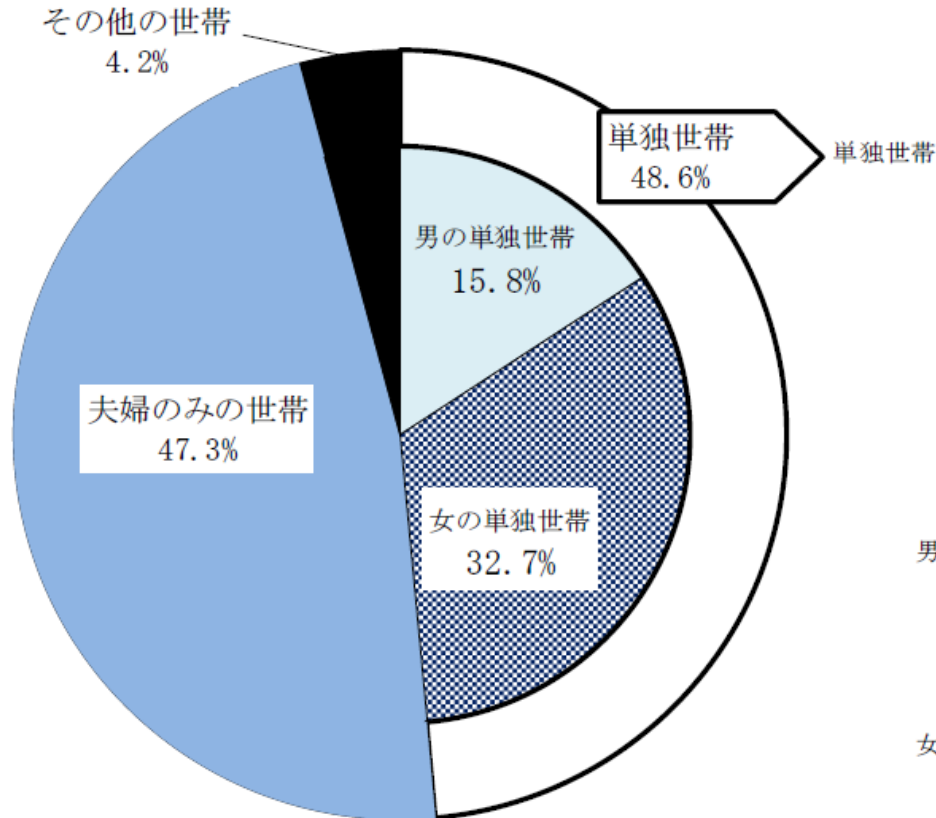
3) 「親と未婚の子のみの世帯」とは、「夫婦と未婚の子のみの世帯」及び「ひとり親と未婚の子のみの世帯」をいう。

出典：厚生労働省「平成30年 国民生活基礎調査」

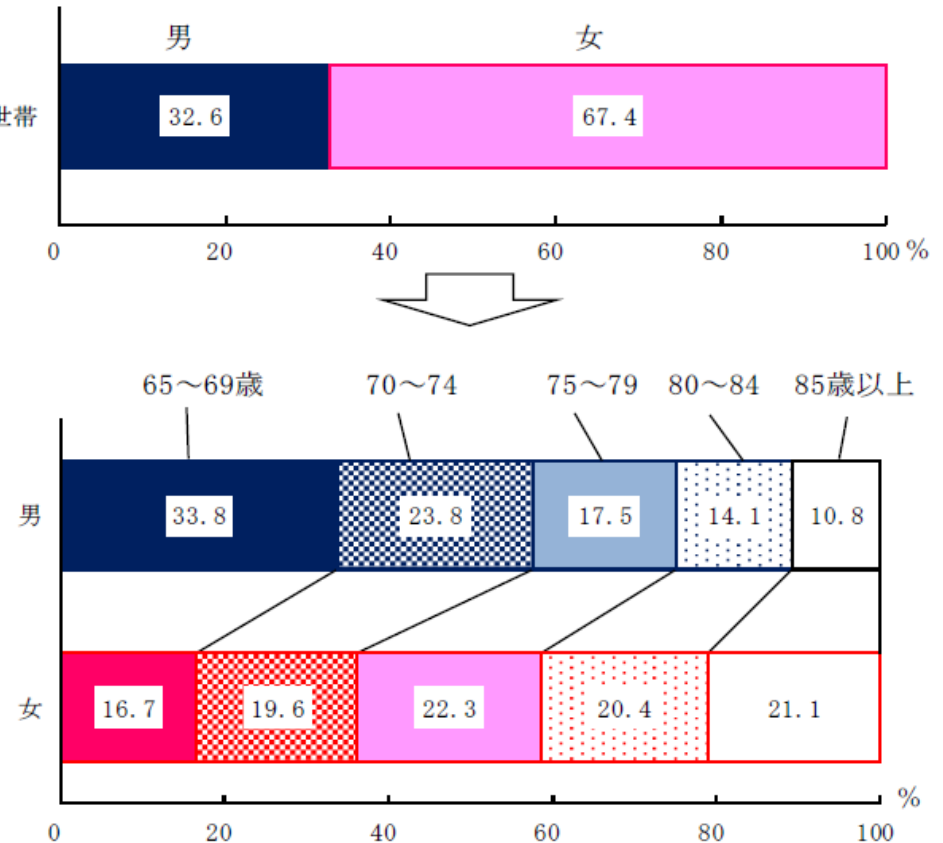
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa18/dl/02.pdf>

高齢者世帯の世帯構造（平成30年）

65 歳以上の単独世帯の性・年齢構成



注：「その他の世帯」には、「親と未婚の子のみの世帯」及び「三世帯世帯」を含む。

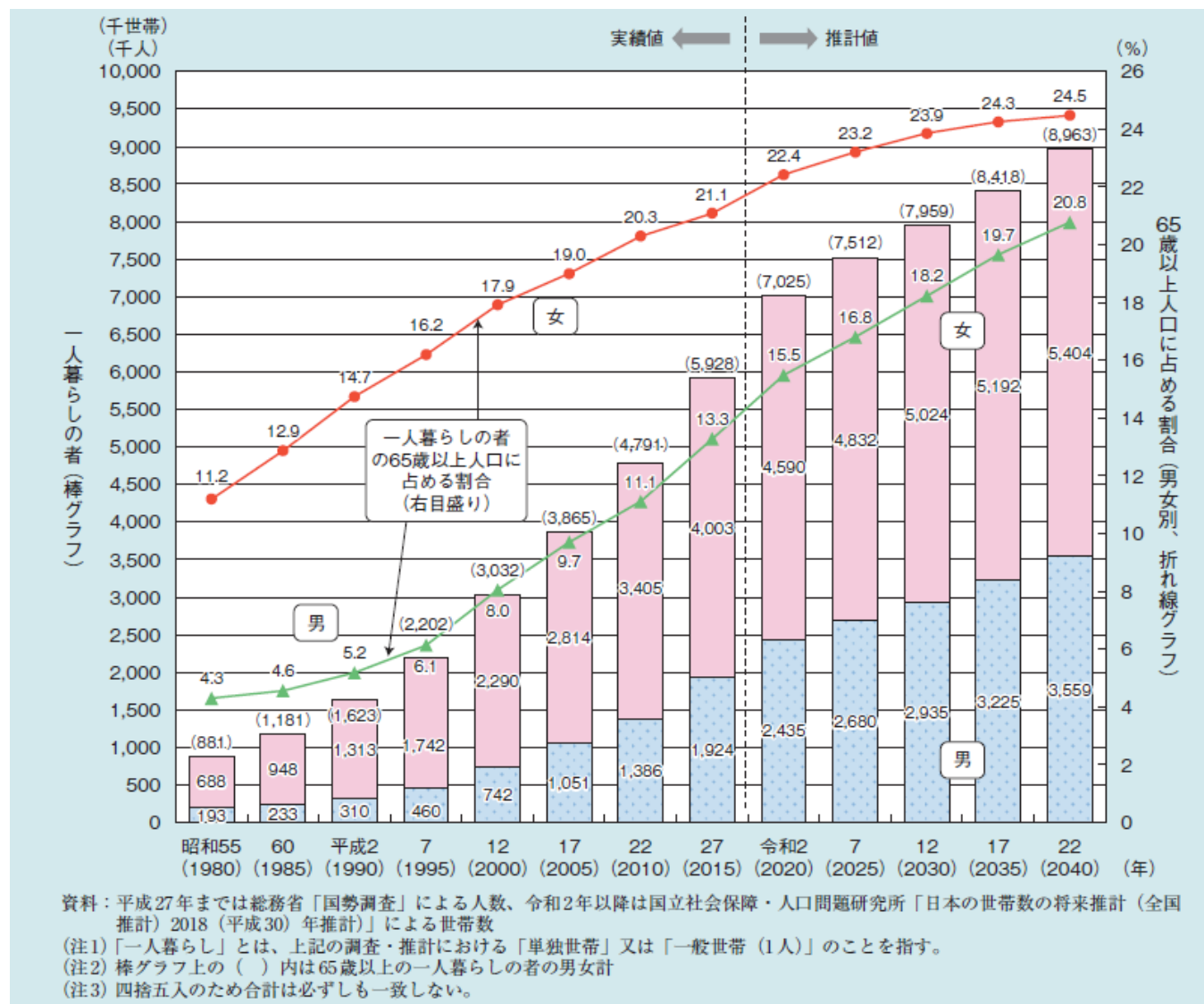


出典：厚生労働省「平成30年 国民生活基礎調査」

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa18/dl/02.pdf>

高齢者世帯とは、65歳以上の者のみで構成するか、又はこれに18歳未満の未婚の者が加わった世帯をいう。

一人暮らしの高齢者の動向



出典：内閣府「令和元年度 高齢社会白書」

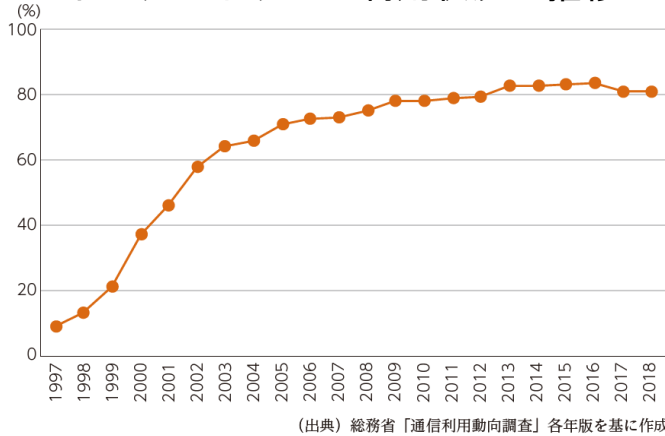
https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2019/zenbun/pdf/1s1s_03.pdf

1. 社会経済状況

ソーシャルメディアの普及

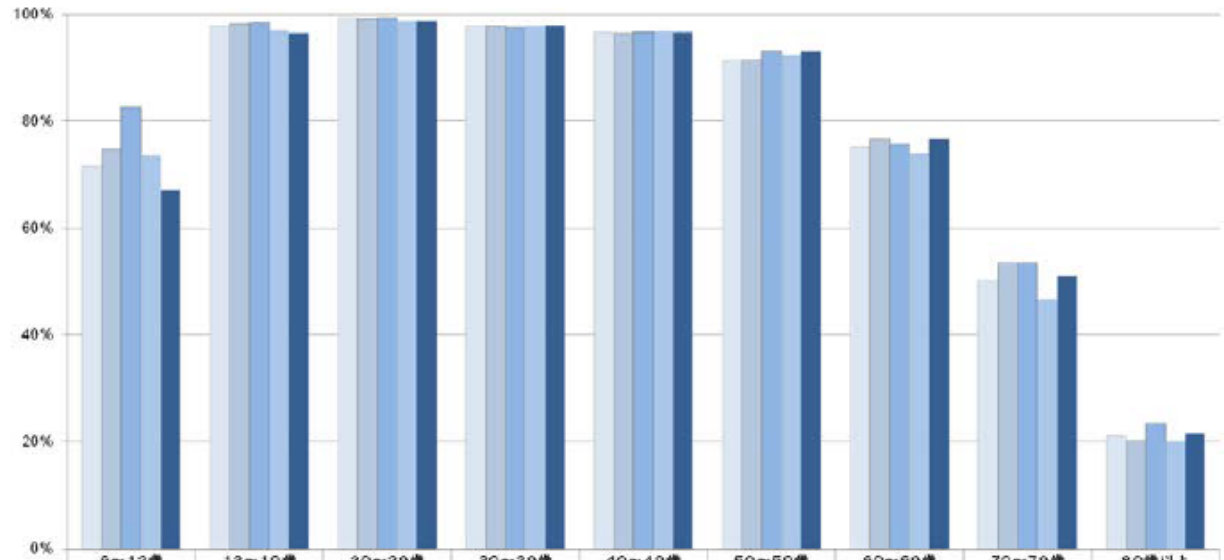
ソーシャルメディアの普及①

インターネットの利用状況の推移



出典：総務省 「平成30年 情報通信白書」
<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r01/pdf/n1100000.pdf>

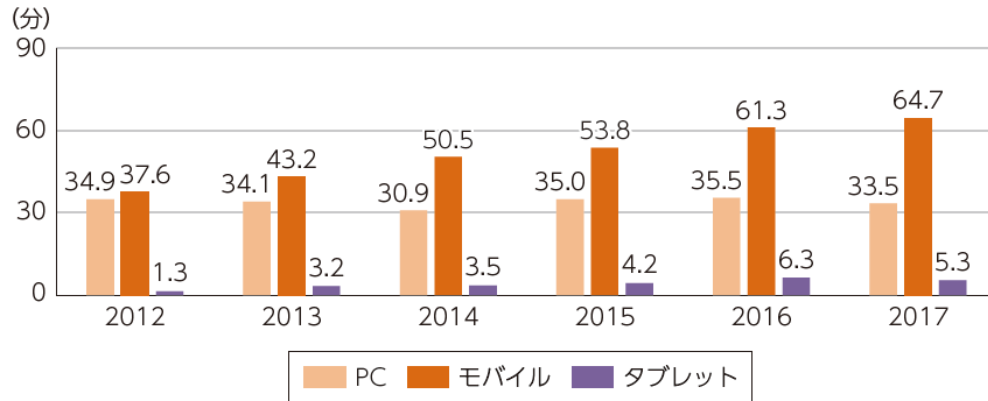
年齢階層別インターネット利用状況の推移



通信利用動向調査：平成30年9月末の世帯及び企業における情報通信サービスの利用状況等についての調査結果を取りまとめたもの。

出典：総務省 「平成30年 通信利用動向調査」
http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/data/190531_1.pdf

ソーシャルメディアの普及②

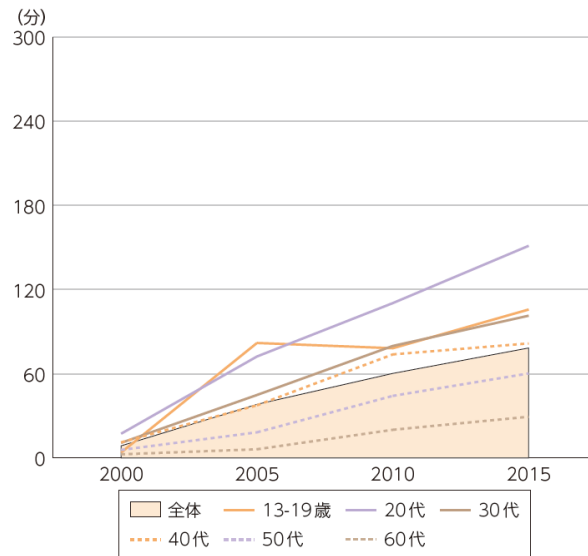


主な機器によるインターネット
平均利用時間（全年代）

出典：総務省「平成30年 情報通信白書」
<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r01/pdf/n1100000.pdf>

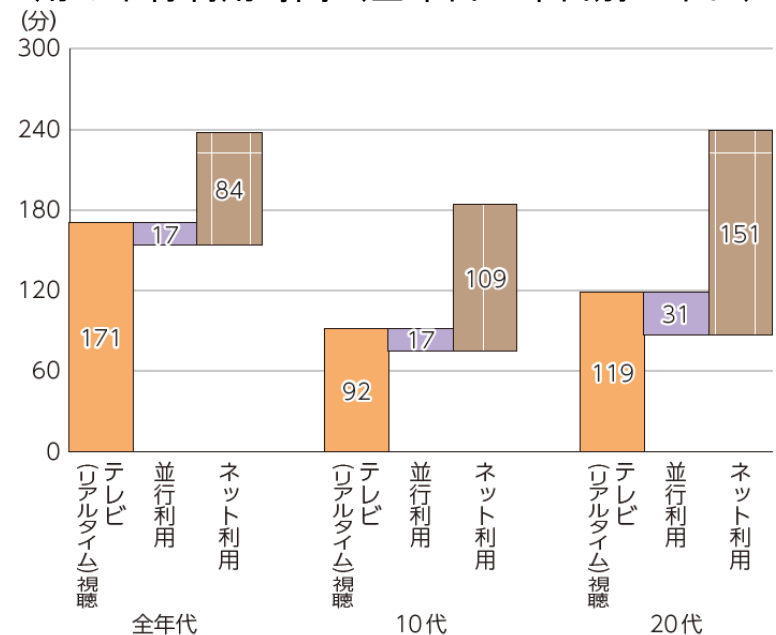
（出典）総務省情報通信政策研究所（2018）「平成29年情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書」

インターネット利用時間推移
（2000年～2015年、平日1日あたり、全体・年代別）



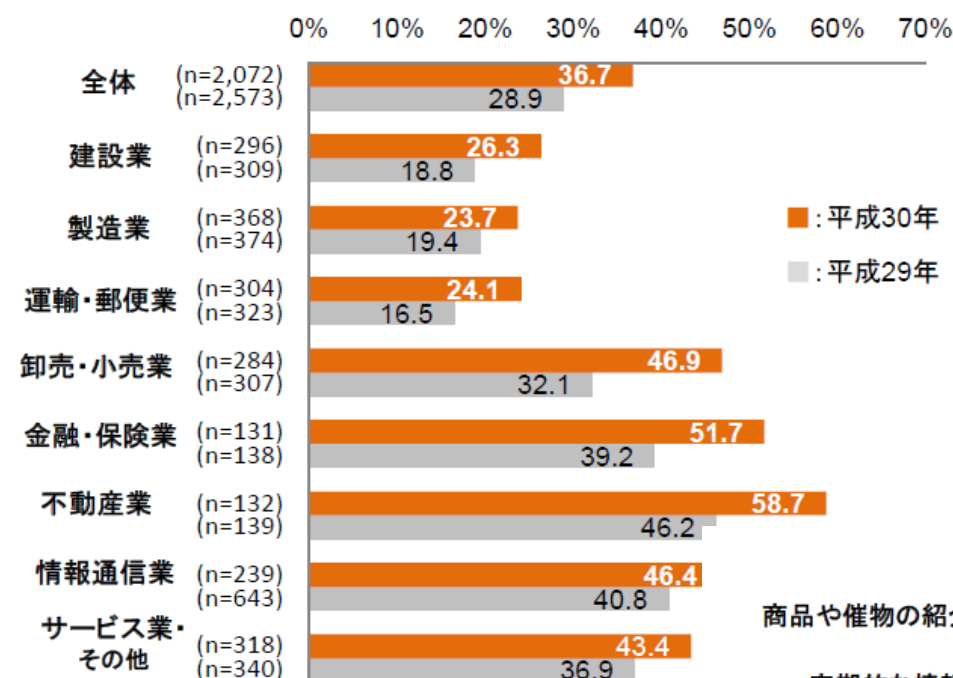
出典：総務省「平成30年 情報通信白書」
<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r01/pdf/n1400000.pdf>

テレビ（リアルタイム）視聴とインターネット利用の平行利用時間（全年代・年代別・平日）



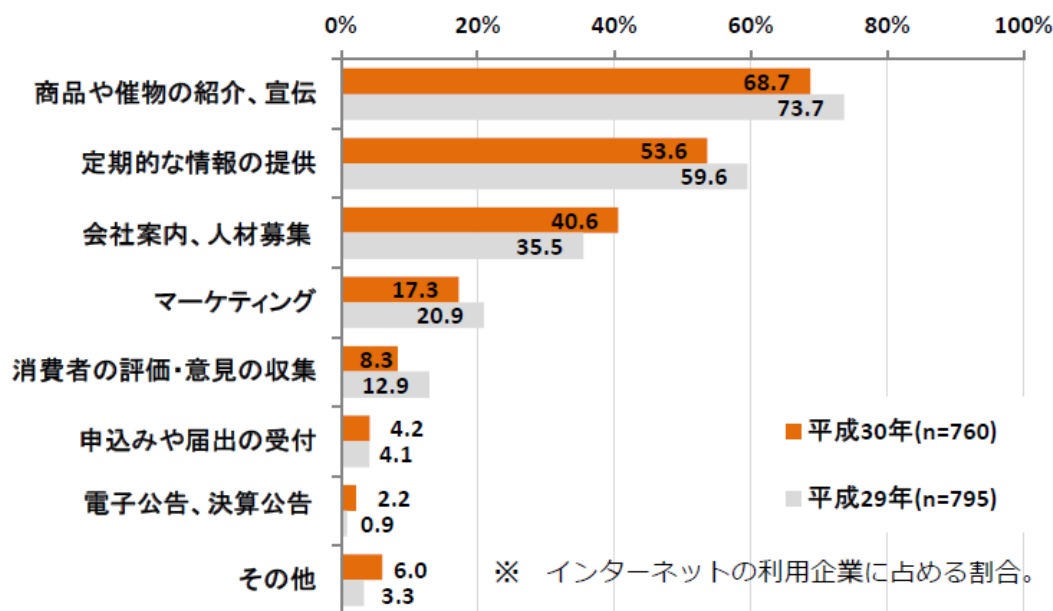
企業におけるソーシャルメディアサービスの活用

ソーシャルメディアサービスの活用状況



ソーシャルメディア：ソーシャル
ネットワーキングサービス、ブロ
グ、動画共有サイトなどの総称

ソーシャルメディアサービスの活用目的・用途



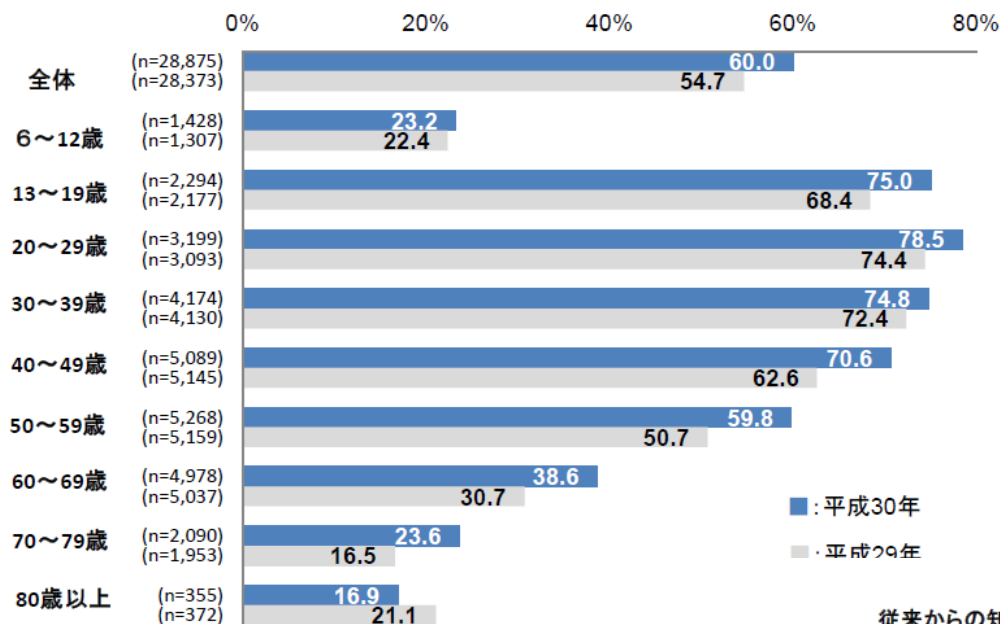
出典：総務省

「平成30年 通信利用動向調査」

http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/data/190531_1.pdf

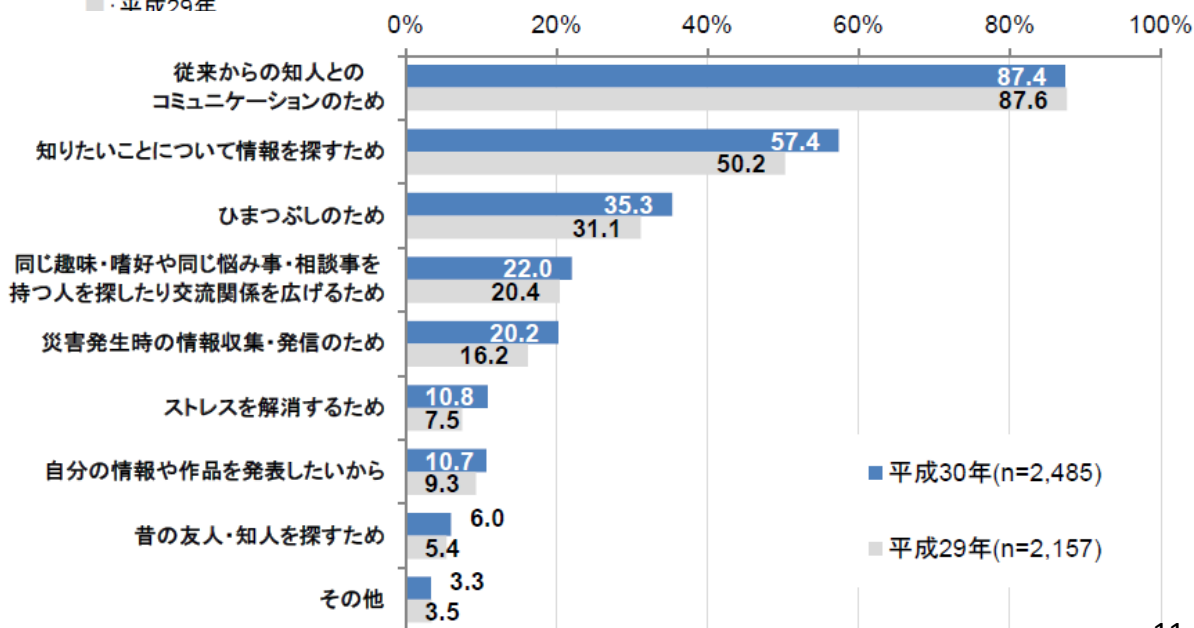
個人におけるソーシャルネットワーキングサービスの活用

ソーシャルネットワーキングサービスの利用状況



ソーシャルネットワークサービス（SNS）：人と人との社会的な繋がりを維持・促進する様々な機能を提供する、会員制のオンラインサービス。

ソーシャルネットワーキングサービスの利用目的



出典：総務省

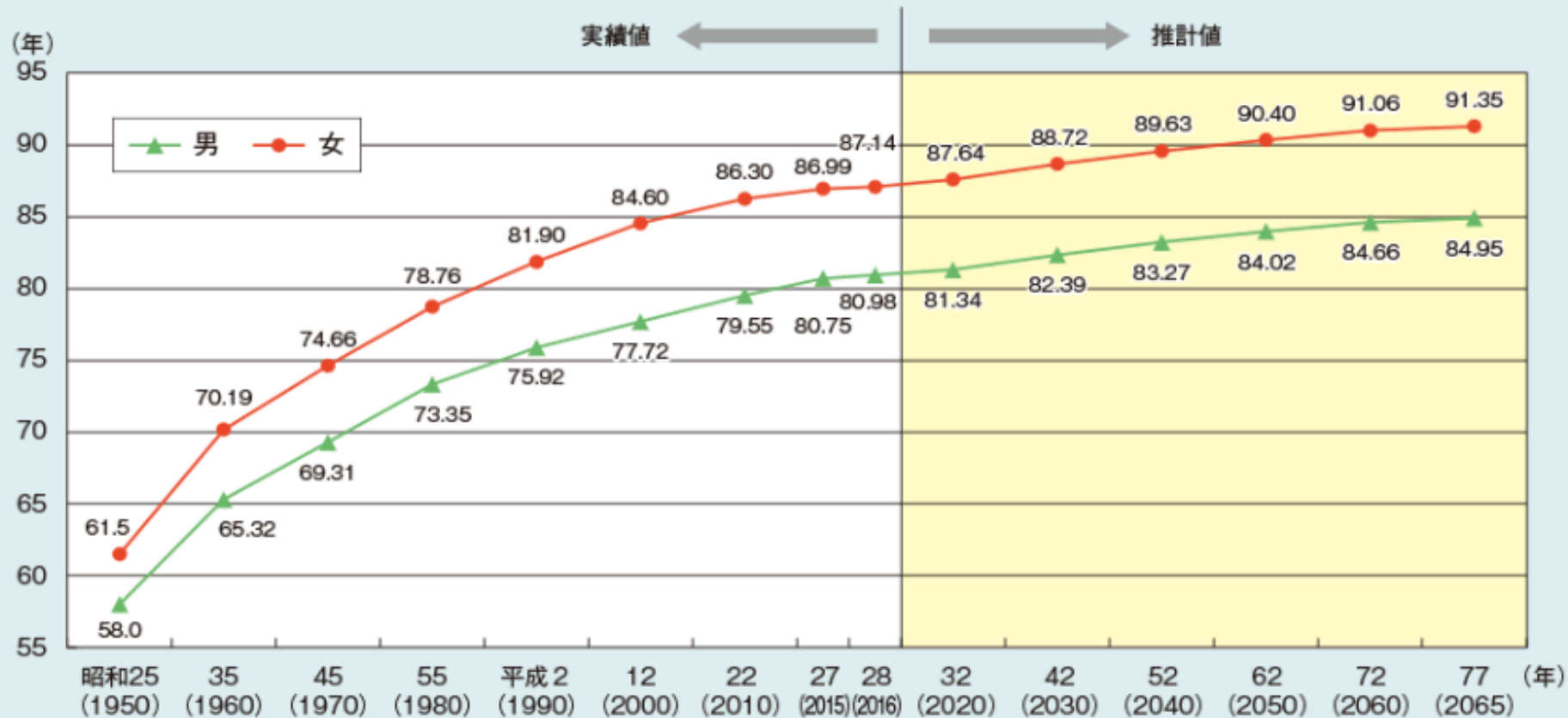
「平成30年 通信利用動向調査」

http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/data/190531_1.pdf

2. 健康寿命の延伸に関する状況

平均寿命と健康寿命

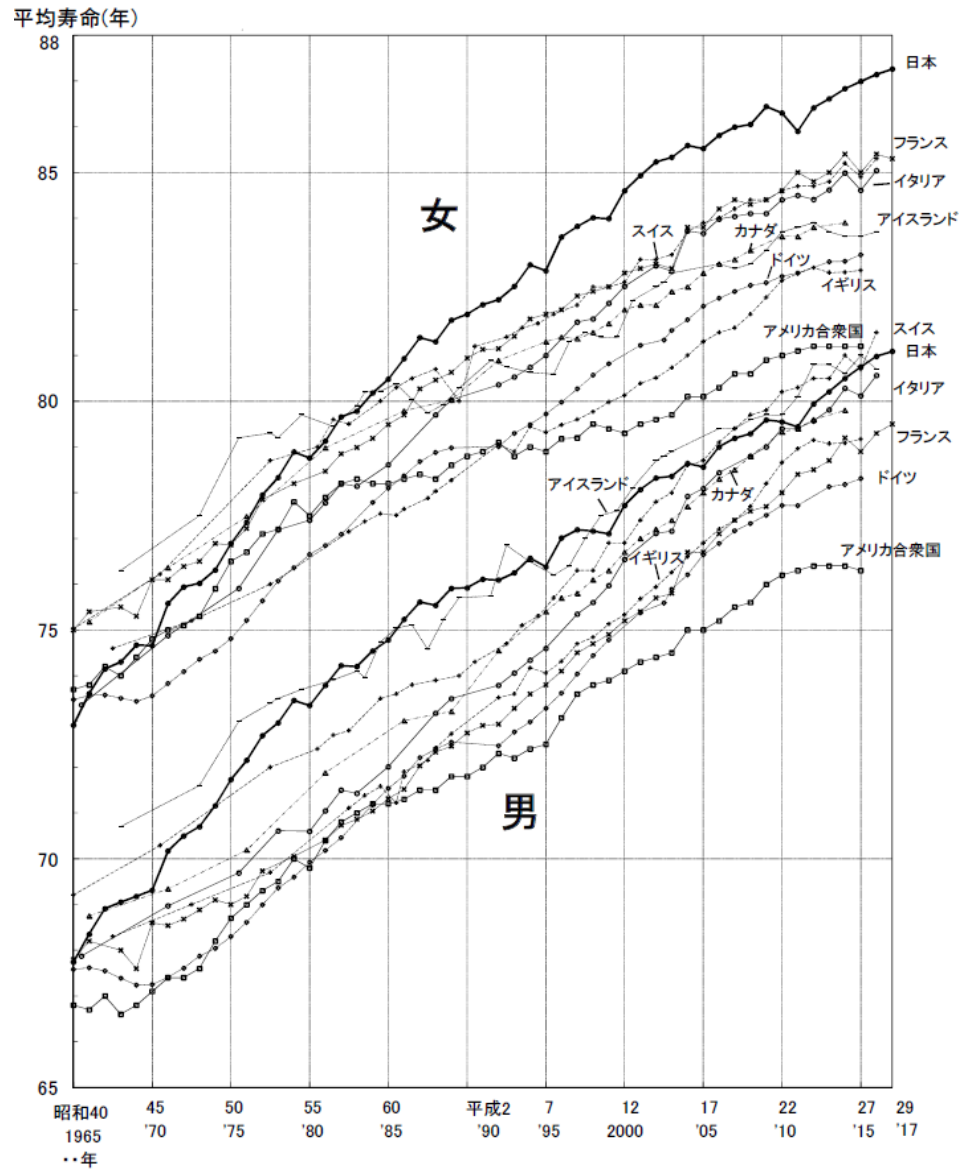
平均寿命の推移と将来推計



資料：1950年は厚生労働省「簡易生命表」、1960年から2015年までは厚生労働省「完全生命表」、2016年は厚生労働省「簡易生命表」、2020年以降は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果

(注) 1970年以前は沖縄県を除く値である。0歳の平均余命が「平均寿命」である。

主な国の平均寿命の年次推移



資料：国連「Demographic Yearbook」等

注：1) 1971年以前の日本は、沖縄県を除く数値である。

2) 1990年以前のドイツは、旧西ドイツの数値である。

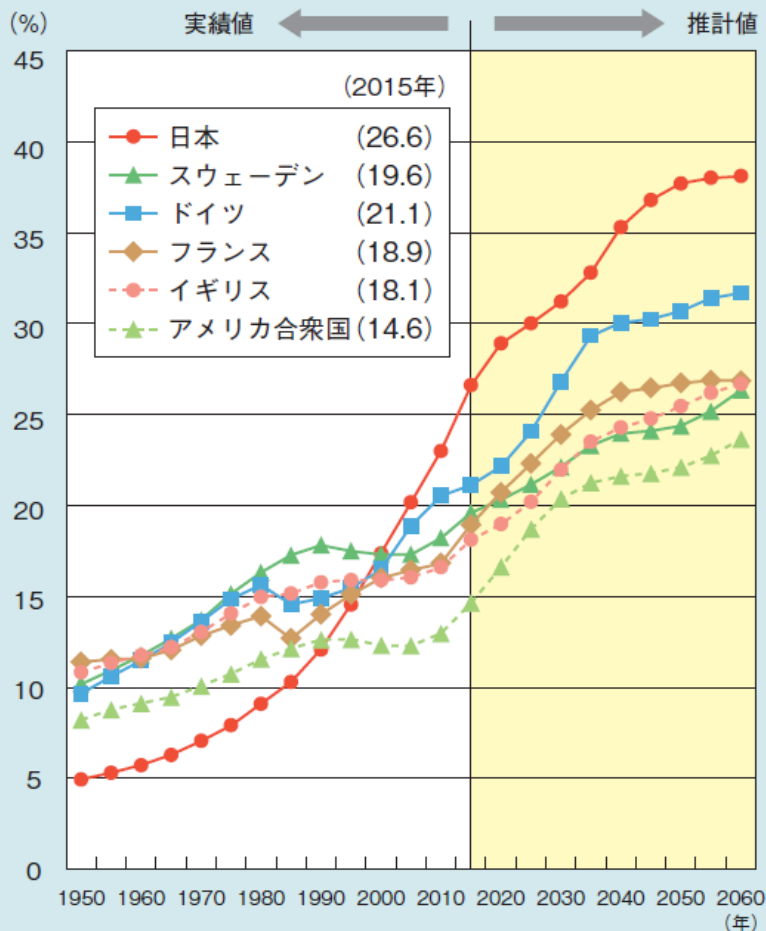
出典：厚生労働省

「平成30年 国民生活基礎調査」

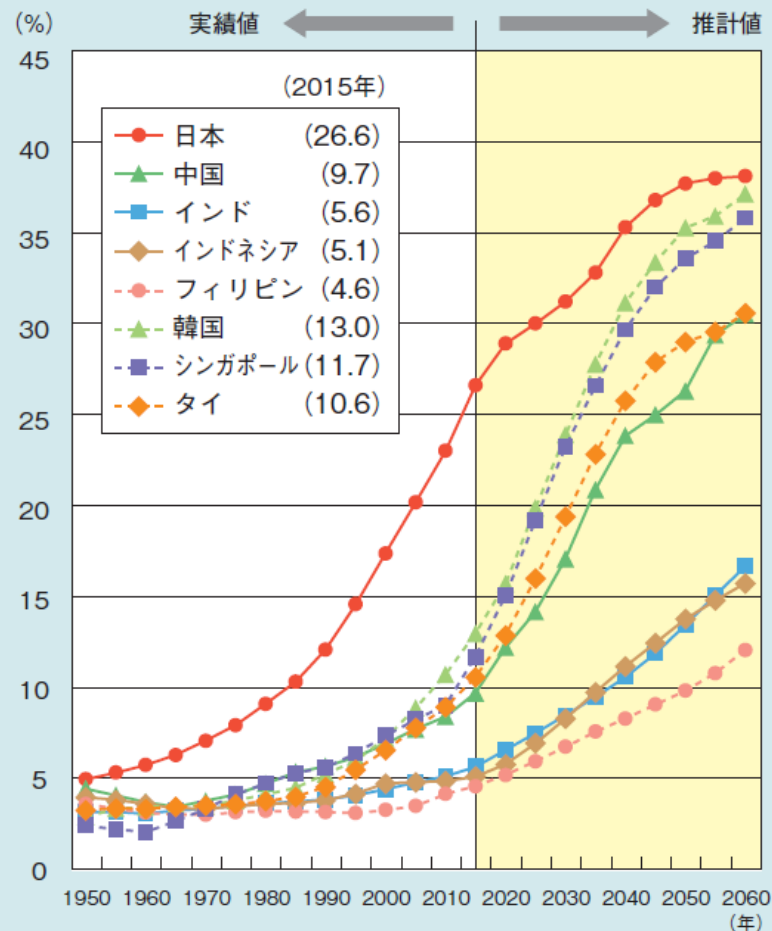
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa18/dl/02.pdf>

世界の高齢化率の推移

1. 欧米



2. アジア



資料：UN, World Population Prospects: The 2017 Revision

ただし日本は、2015年までは総務省「国勢調査」

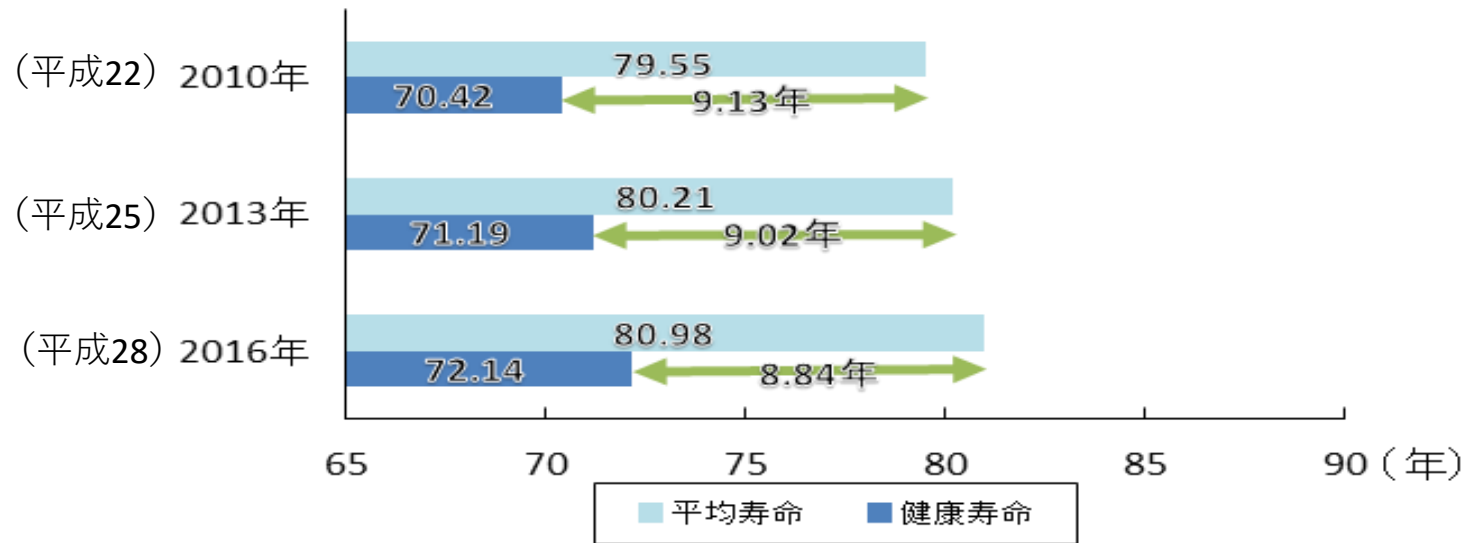
2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果による。

出典：内閣府「令和元年度 高齢者白書」

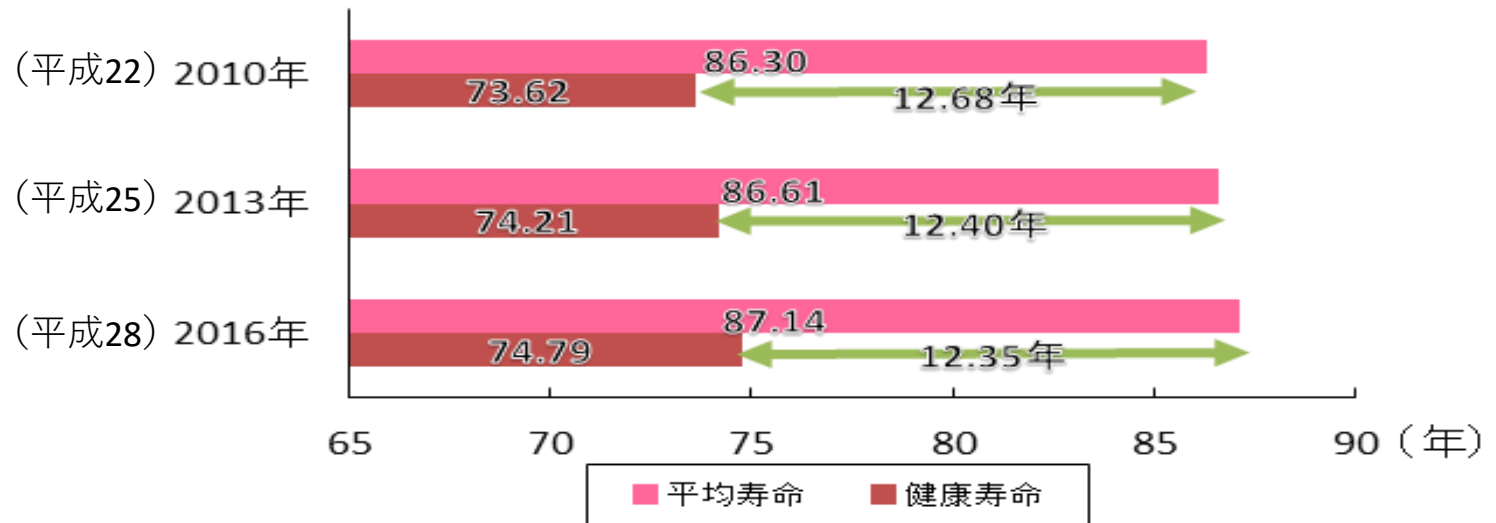
https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2019/zenbun/pdf/1s1s_02.pdf

平均寿命と健康寿命の推移

男性

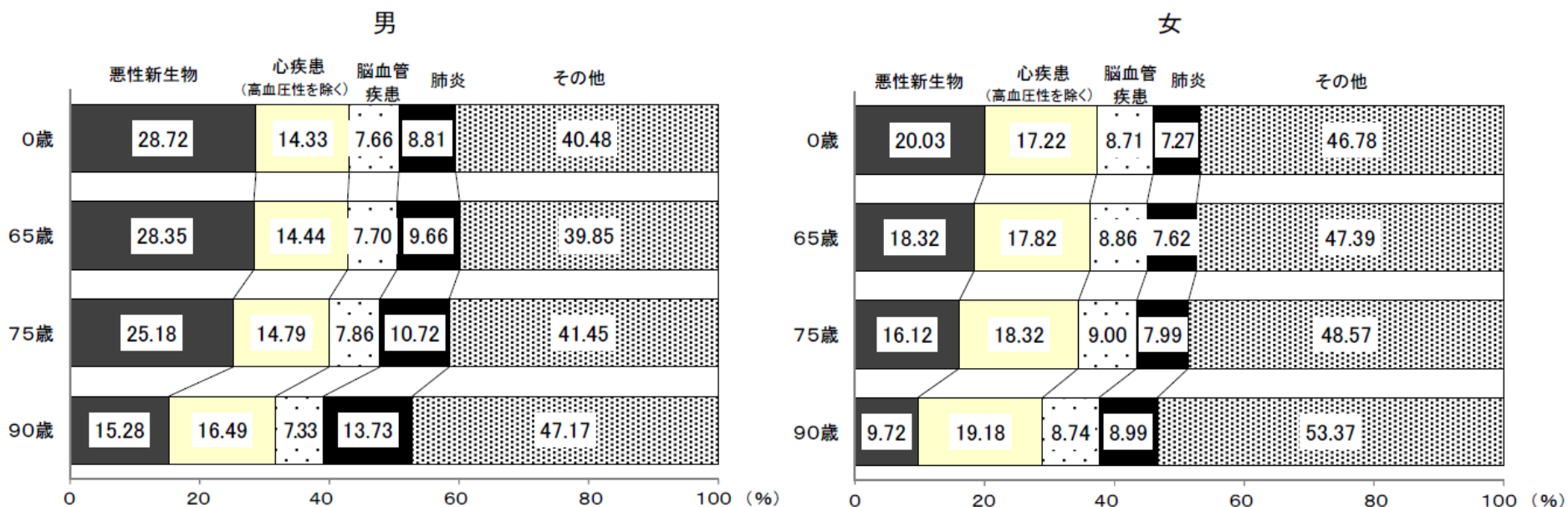


女性



2. 健康寿命の延伸に関する状況 死亡の状況と原因

死因別死亡確率（主要死因）（平成29年）

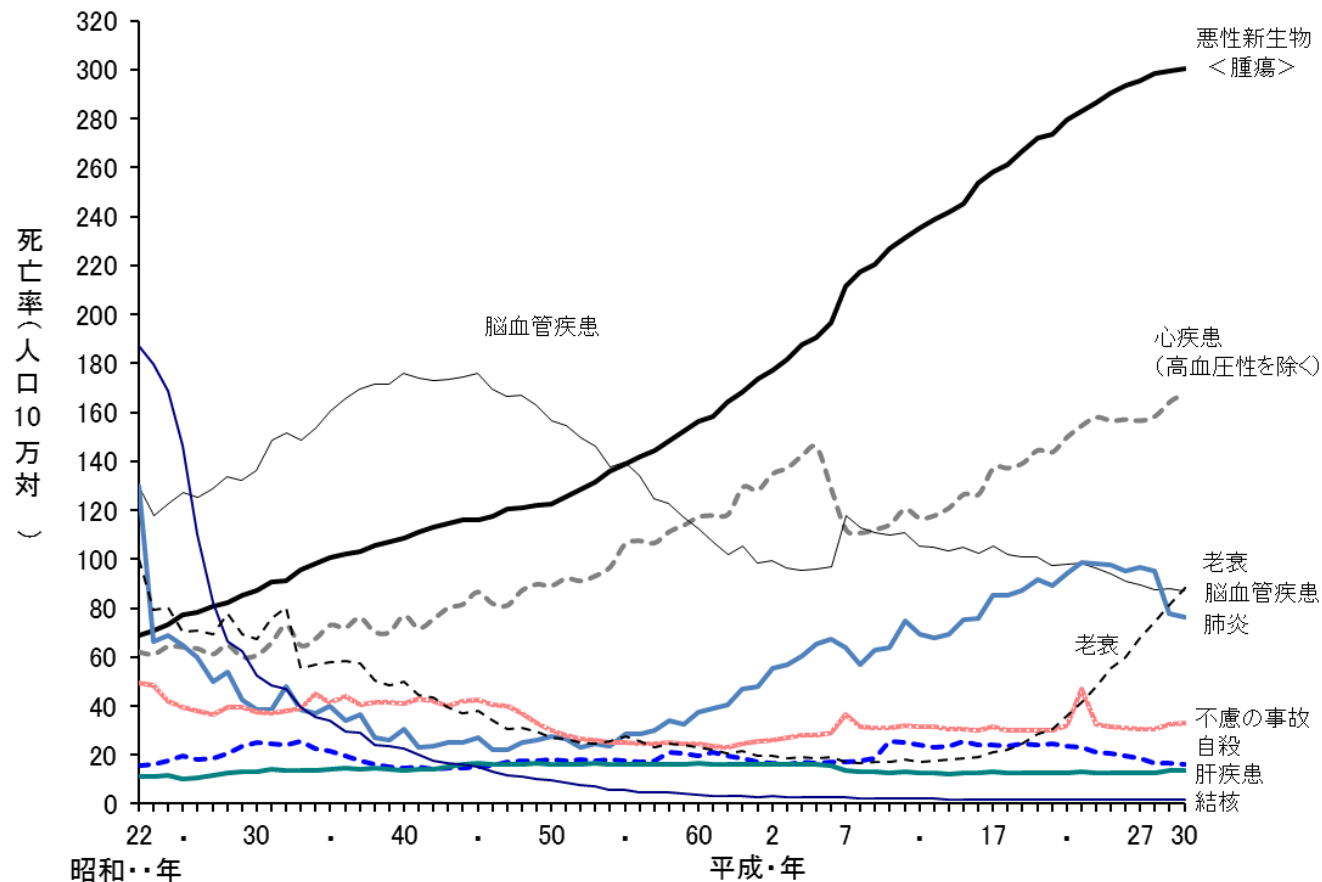


出典：厚生労働省「平成29年 簡易生命表の概況」

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/life/life17/dl/life17-05.pdf>

死因別死亡確率：生命表の上で、ある年齢の者が将来どの死因で死亡するかを計算し、確率の形で表したもの

主な死因別にみた死亡率(人口10万対)の年次推移



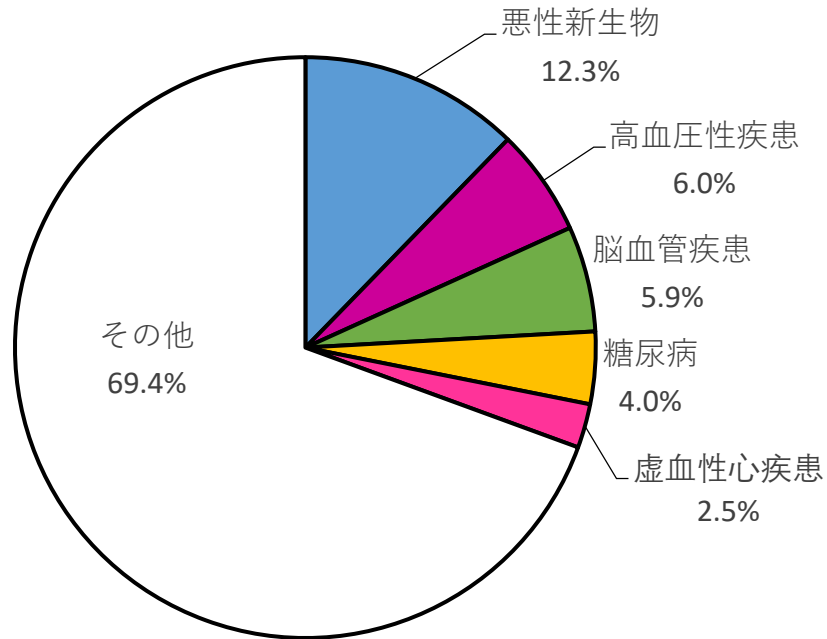
- 注：1) 平成6年までの「心疾患(高血圧性を除く)」は、「心疾患」である。
- 2) 平成6・7年の「心疾患(高血圧性を除く)」の低下は、死亡診断書(死体検案書)(平成7年1月施行)において「死亡の原因欄には、疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください」という注意書きの施行前からの周知の影響によるものと考えられる。
- 3) 平成7年の「脳血管疾患」の上昇の主な要因は、ICD-10(平成7年1月適用)による原死因選択ルールの特長によるものと考えられる。
- 4) 平成29年の「肺炎」の低下の主な要因は、ICD-10(2013年版)(平成29年1月適用)による原死因選択ルールの特長によるものと考えられる。

出典：厚生労働省「平成30年(2018)人口動態統計月報年計(概数)の概況」

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai18/dl/gaikyou30-190626.pdf>

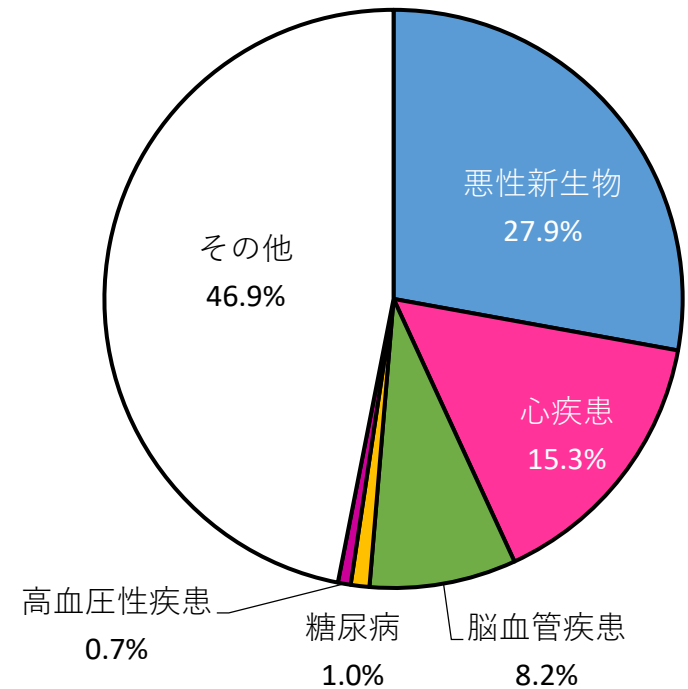
生活習慣病の医療費に占める割合と死亡割合

一般診療医療費の構成割合



資料：厚生労働省「平成28年度国民医療費」

死因別死亡割合



資料：厚生労働省「平成29年人口動態統計」

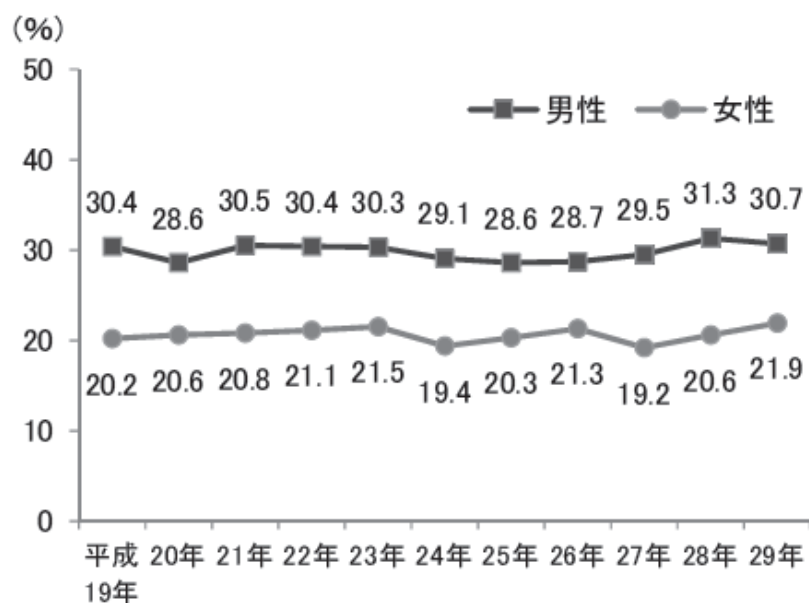
グラフ構成比の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない。

2. 健康寿命の延伸に関する状況

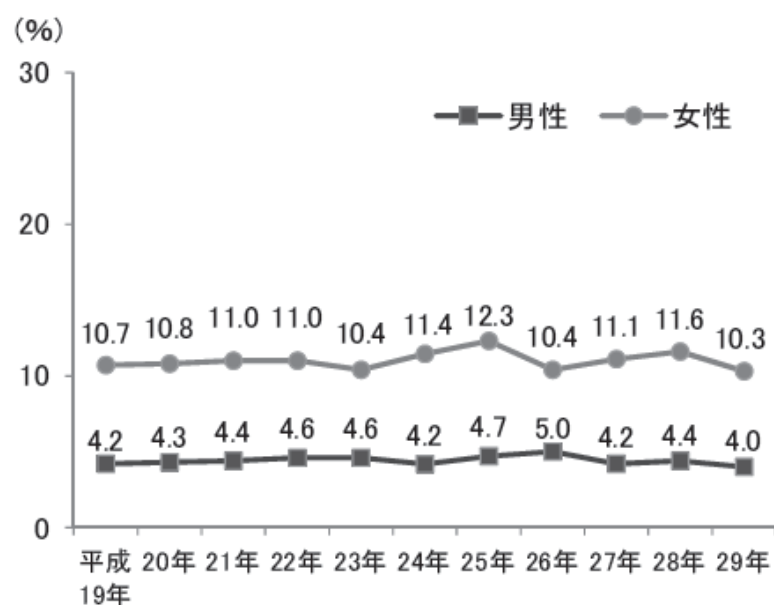
肥満とやせの状況

肥満者（BMI $\geq$ 25kg/m²）及びやせ（BMI<18.5kg/m²）の割合の年次推移（20歳以上）

〈肥満者〉



〈やせ〉

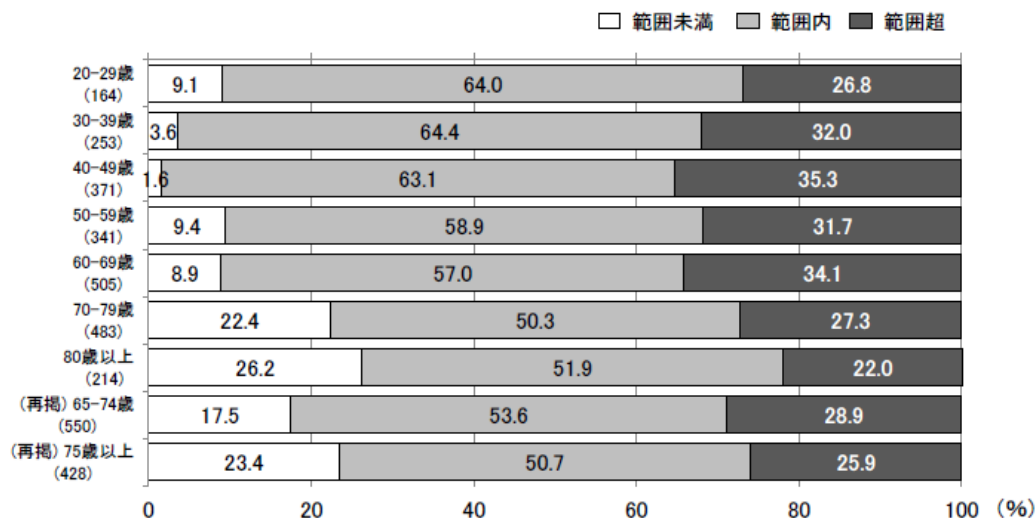


出典：厚生労働省 「平成29年 国民健康・栄養調査」

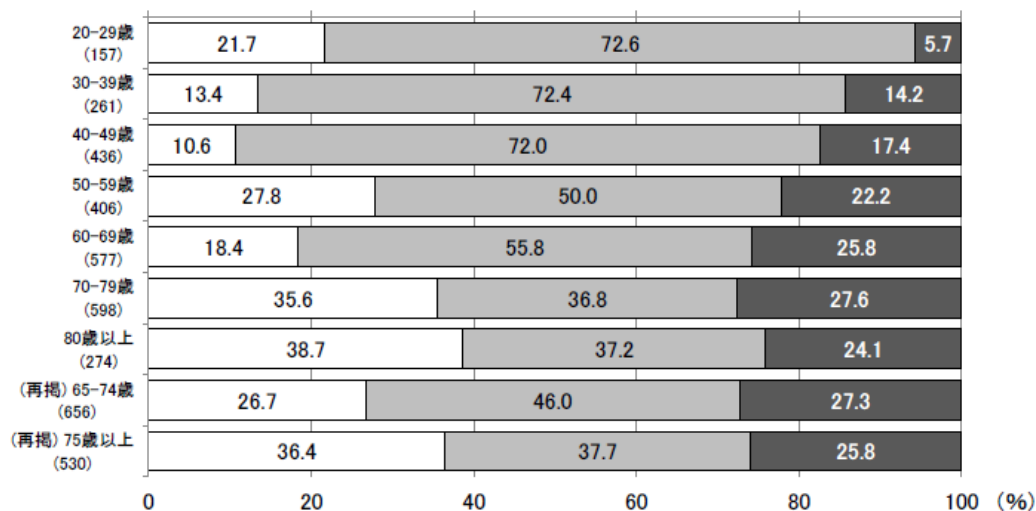
<https://www.mhlw.go.jp/content/000451758.pdf>

目標とするBMIの範囲の分布（20歳以上、性・年齢階級別）

男性



女性



(参考) 目標とするBMIの範囲(18歳以上)^{1,2}

年齢(歳)	目標とするBMI(kg/m ²)
18-49	18.5-24.9
50-69	20.0-24.9
70以上	21.5-24.9 ³

¹ 男女共通。あくまでも参考として使用するべきである。

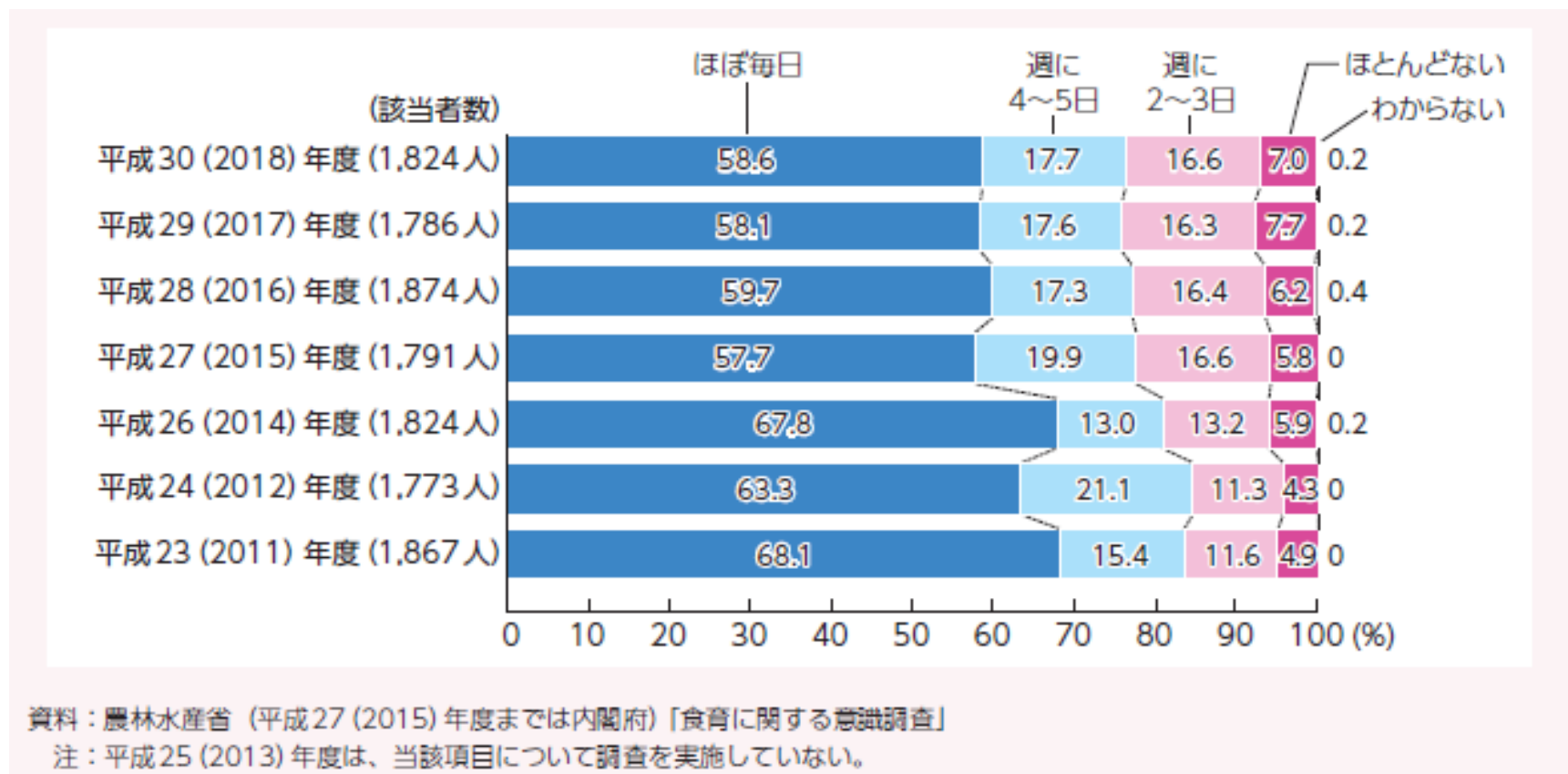
² 観察疫学研究において報告された総死亡率が最も低かったBMIを基に、疾患別の発症率とBMIの関連、死因とBMIの関連、日本人のBMIの実態に配慮し、総合的に判断し目標とする範囲を設定。

³ 70歳以上では、総死亡率が最も低かったBMIと実態との乖離がみられるため、虚弱の予防及び生活習慣病の予防の両者に配慮すると配慮する必要があることも踏まえ、当面目標とするBMIの範囲を21.5~24.9 kg/m²とした。
(厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2015年版)」)

3. 栄養・食生活に関する状況

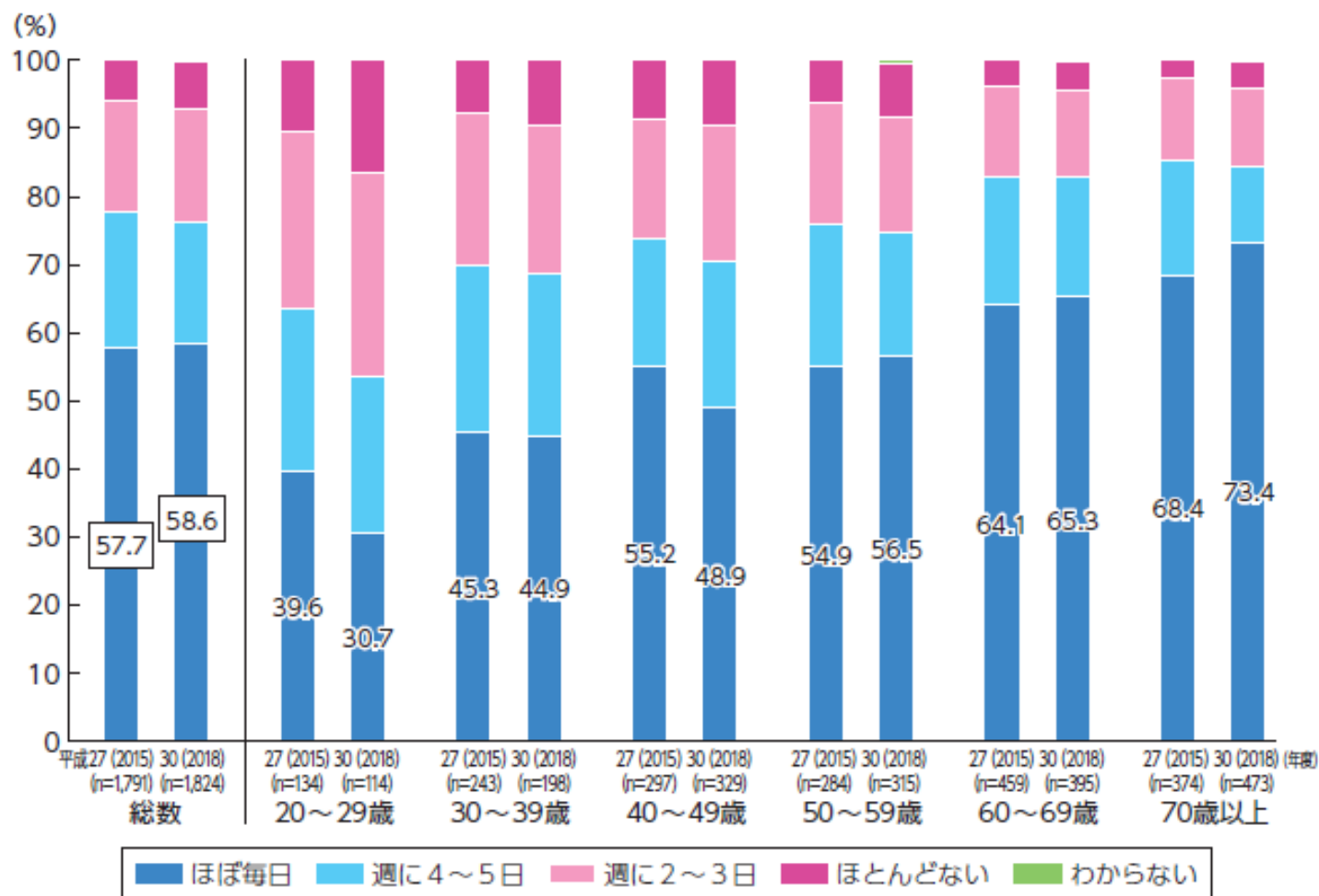
主食・主菜・副菜の摂取状況

主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている国民の割合の推移



出典：農林水産省 「平成30年度 食育白書」
http://www.maff.go.jp/j/syokuiku/wpaper/attach/pdf/h30_wpaper-5.pdf

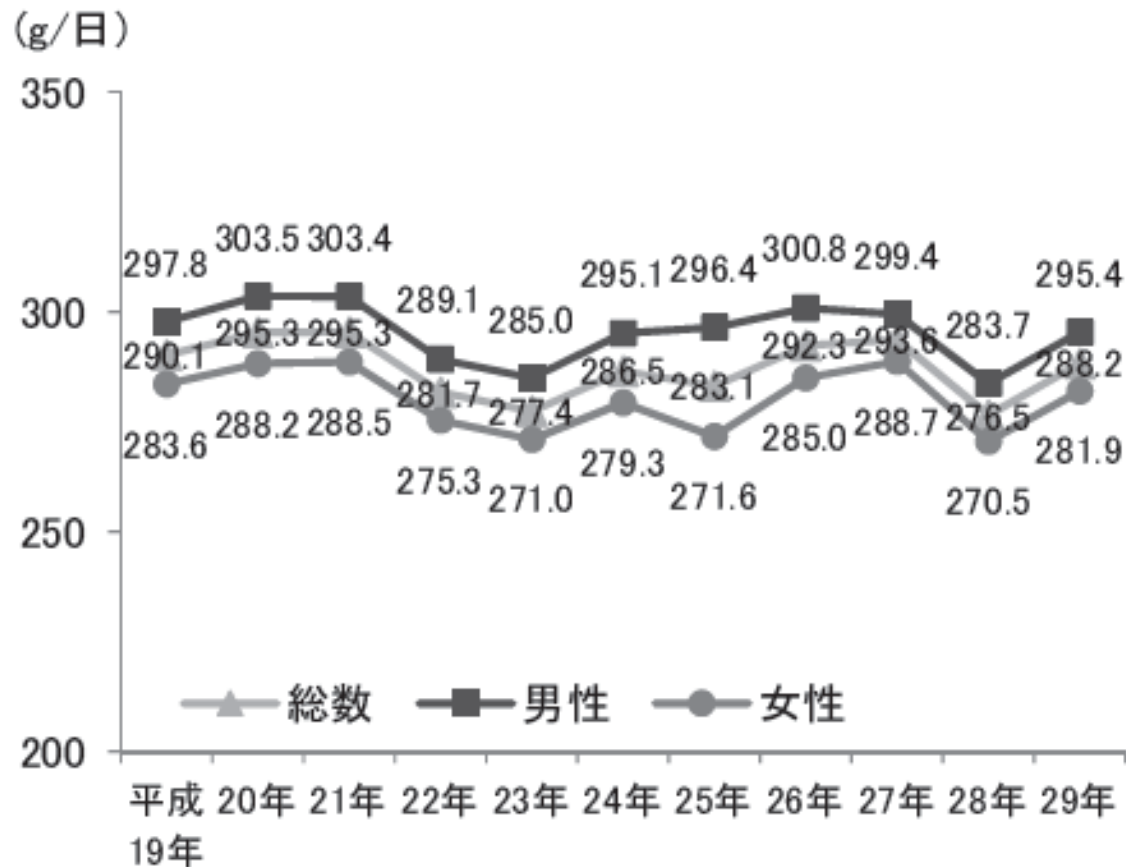
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上食べている国民の割合（年齢階級別）



出典：農林水産省 「平成30年度 食育白書」
http://www.maff.go.jp/j/syokuiku/wpaper/attach/pdf/h30_wpaper-5.pdf

3. 栄養・食生活に関する状況 食品の摂取状況

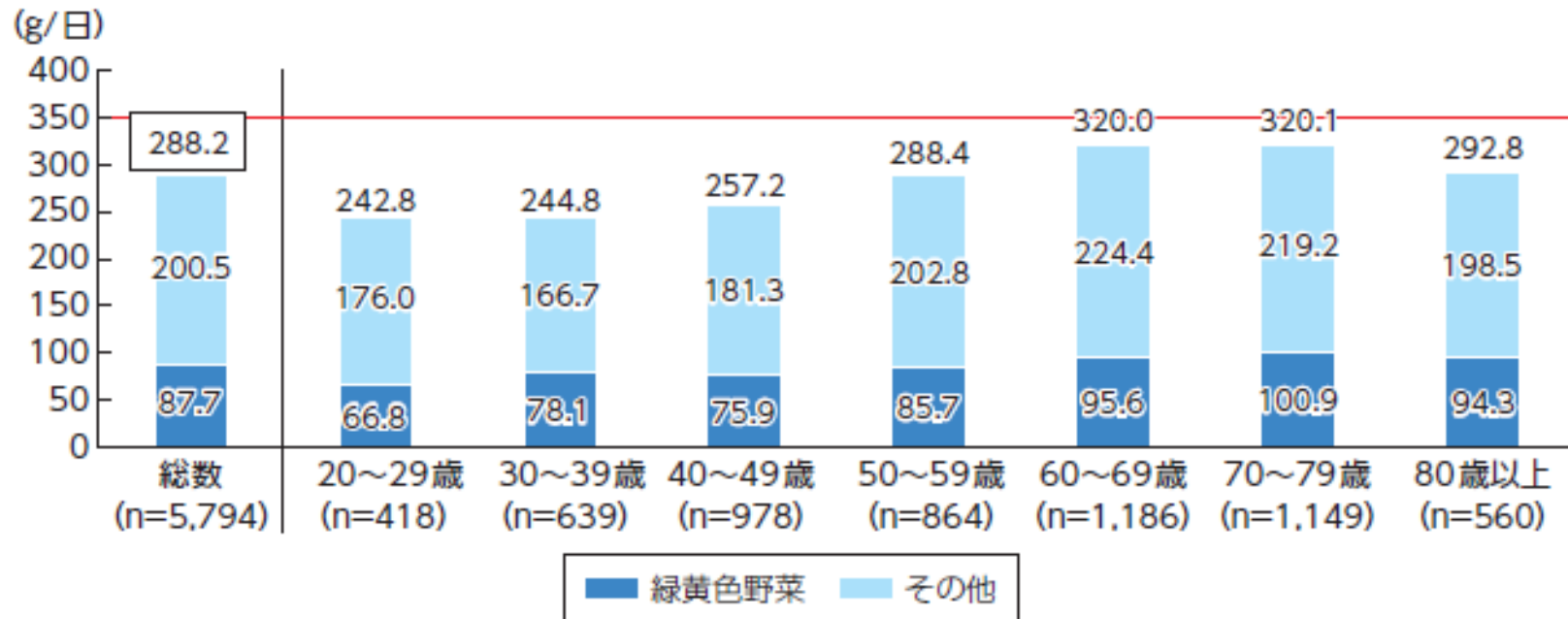
野菜摂取量の平均値の年次推移（20歳以上）（平成19～29年）



出典：厚生労働省 「平成29年 国民健康・栄養調査」

<https://www.mhlw.go.jp/content/000451758.pdf>

野菜類摂取量の平均値（年齢階級別、20歳以上）



資料：厚生労働省「平成29年国民健康・栄養調査¹」

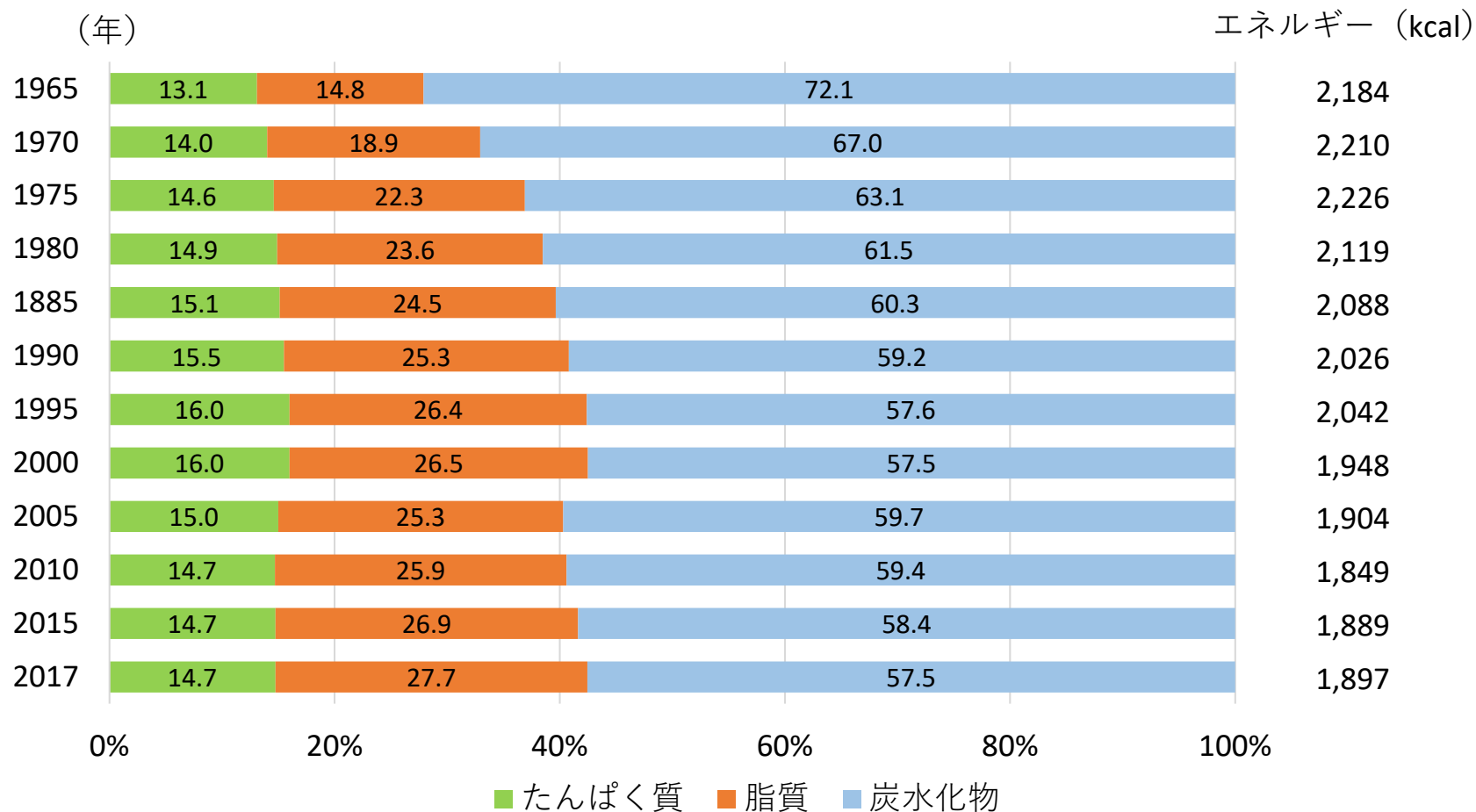
注：野菜類とは、緑黄色野菜、その他の野菜、野菜ジュース、漬け物

出典：農林水産省 「平成30年度 食育白書」

http://www.maff.go.jp/j/syokuiku/wpaper/attach/pdf/h30_wpaper-5.pdf

3. 栄養・食生活に関する状況 栄養素等摂取状況

エネルギー摂取量、エネルギー産生栄養素の構成割合の推移



2005年以降の数値について

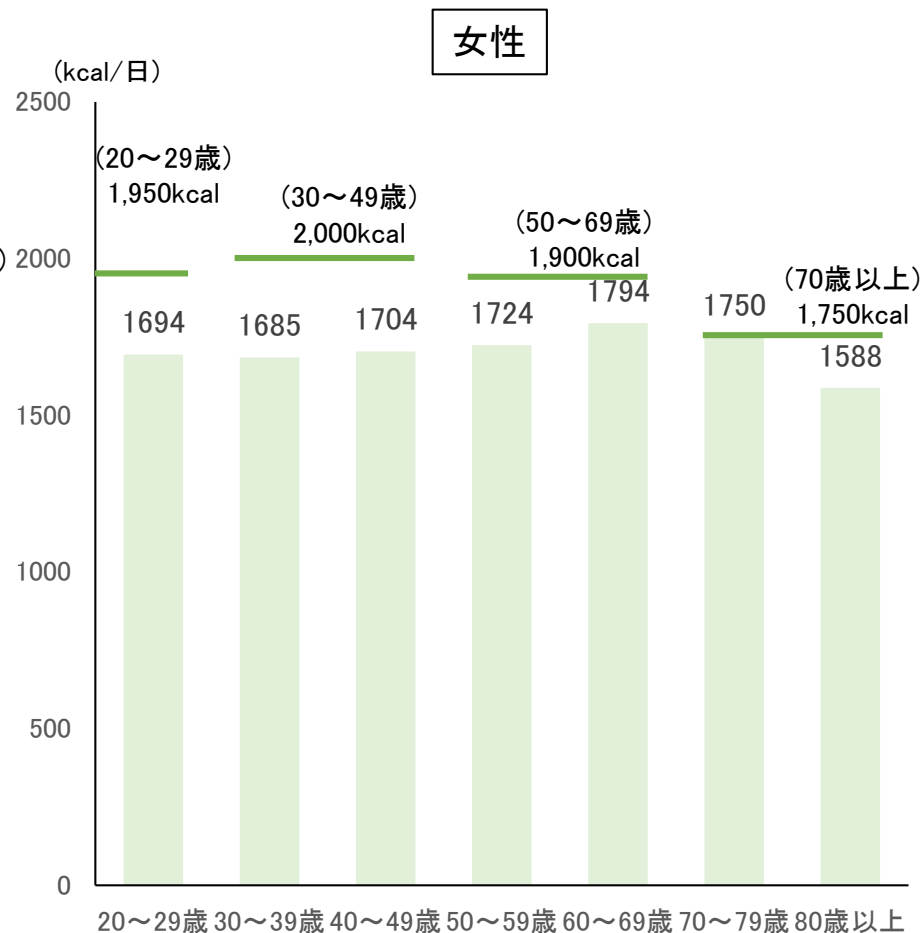
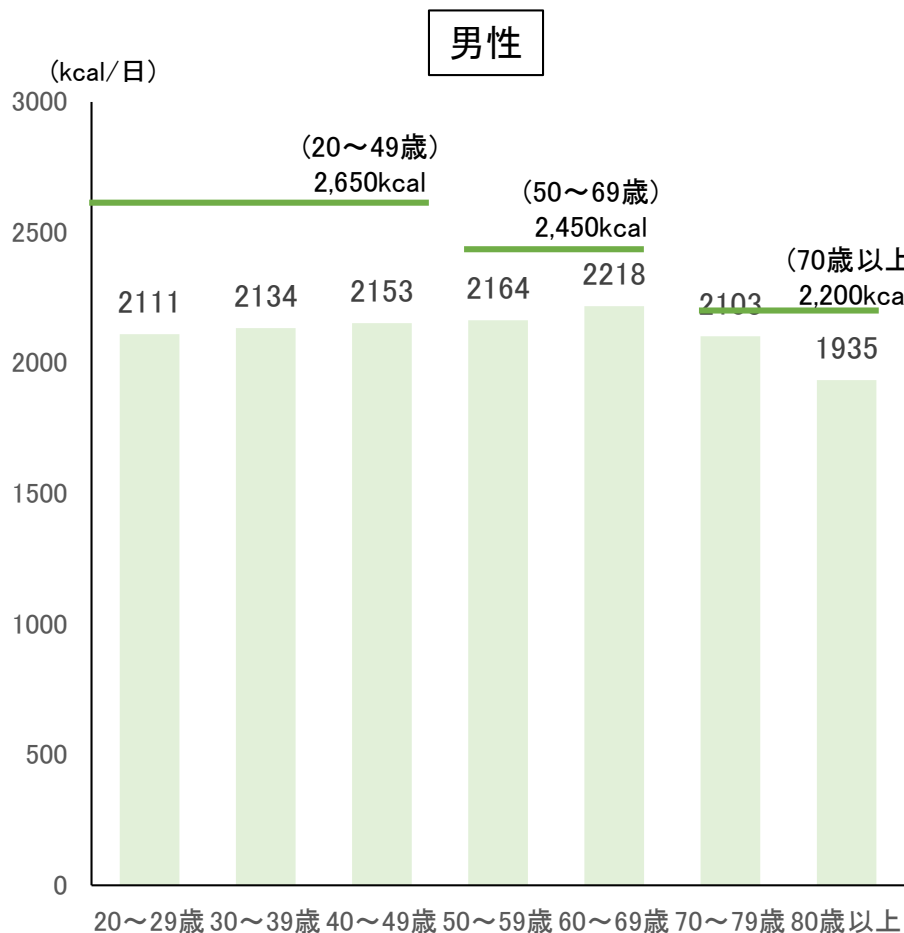
比率は個々人の計算値を平均したものである。

炭水化物エネルギー比率 = $100 - \text{たんぱく質エネルギー比率} - \text{脂肪エネルギー比率}$ で算出。

資料：厚生労働省「国民栄養調査」・「国民健康・栄養調査」

https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kenkou_eiyou_chousa.html

エネルギー摂取量の状況(20歳以上、性・年齢階級別)



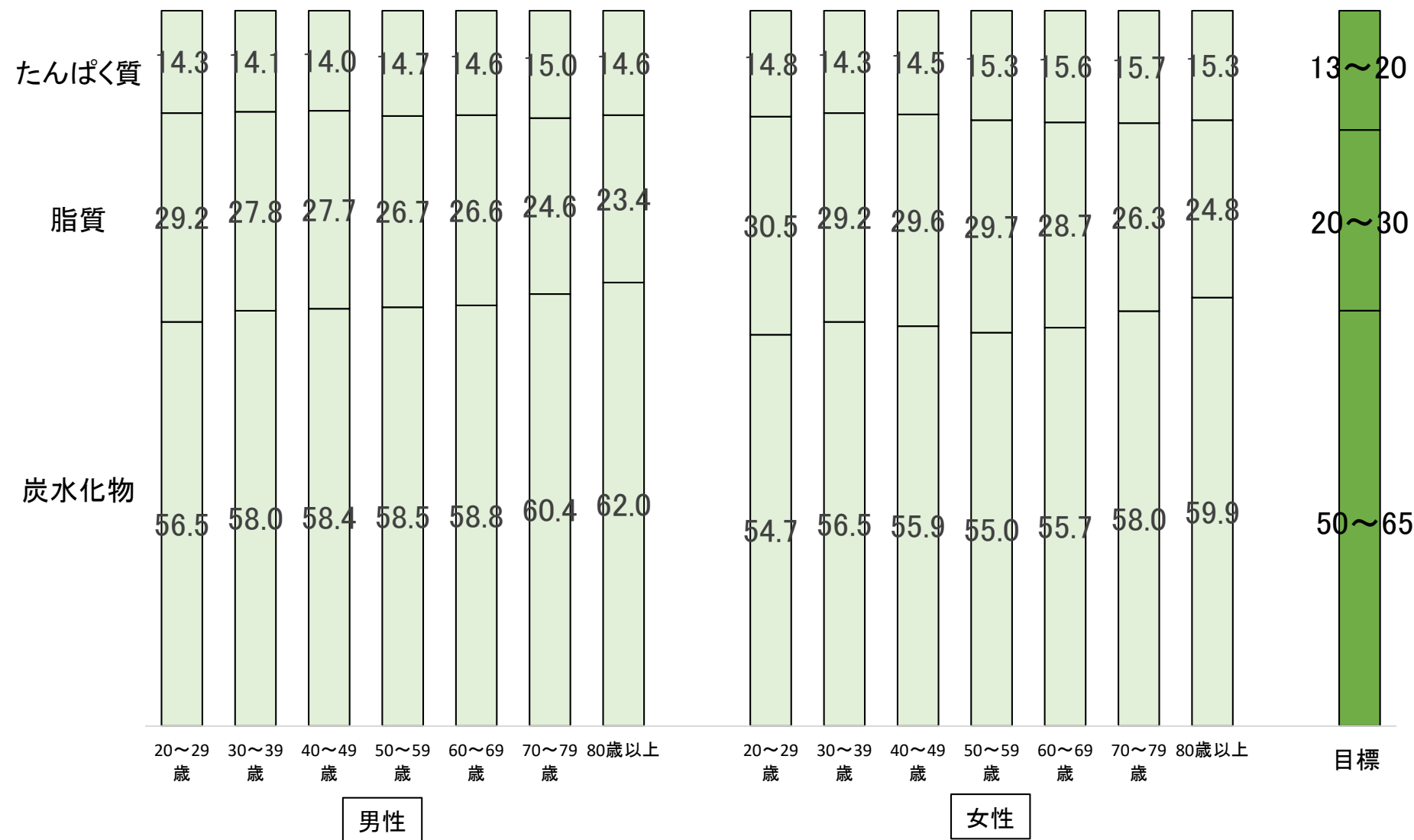
数値は平均値

— 推定エネルギー必要量(身体活動レベルⅡ)

資料: 厚生労働省「平成29年国民健康・栄養調査」
厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2015年)」

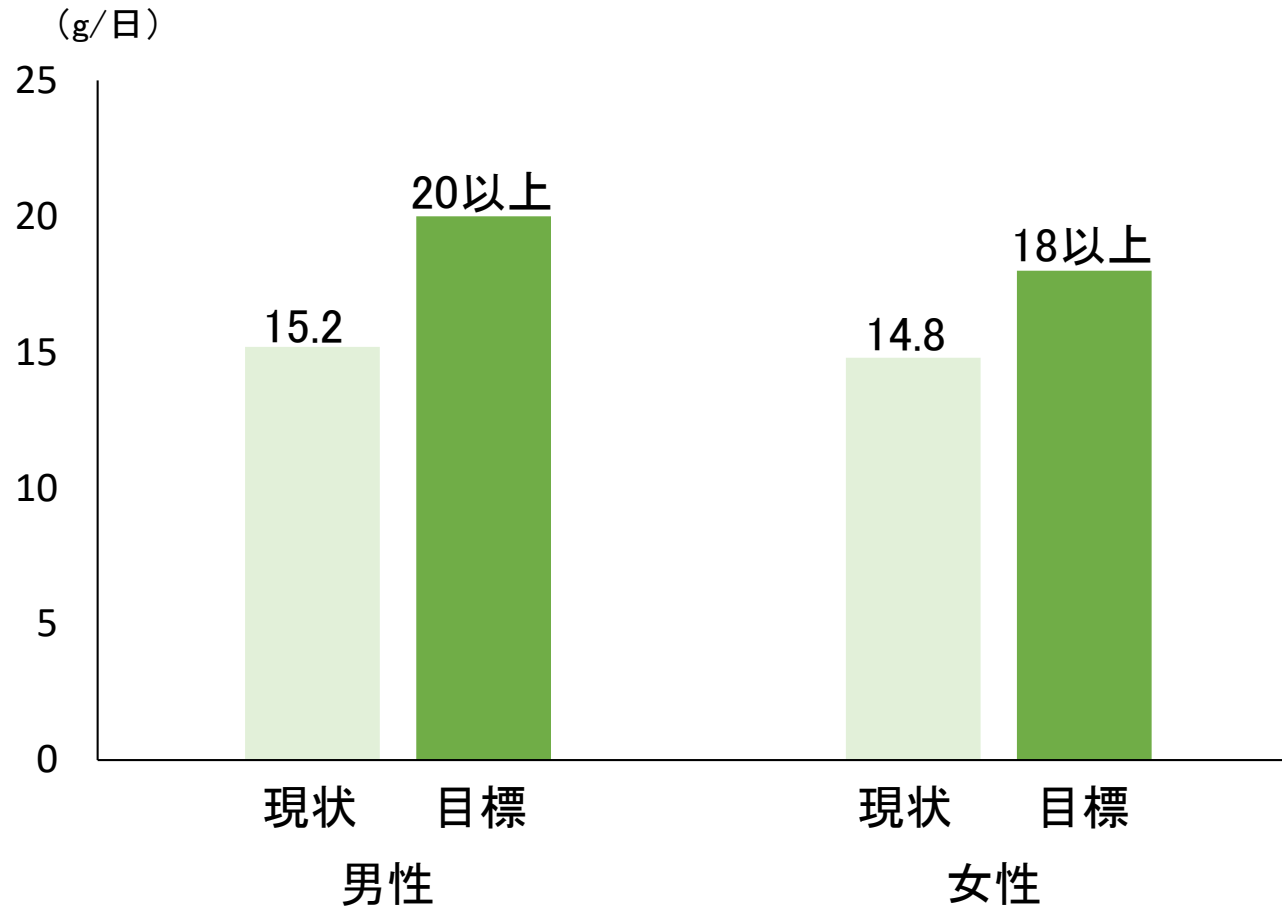
エネルギー産生栄養素バランスの状況(20歳以上、性・年齢階級別)

(構成比の単位: %エネルギー)



資料: (現状)厚生労働省「平成29年国民健康・栄養調査」
(目標)厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2015年)」

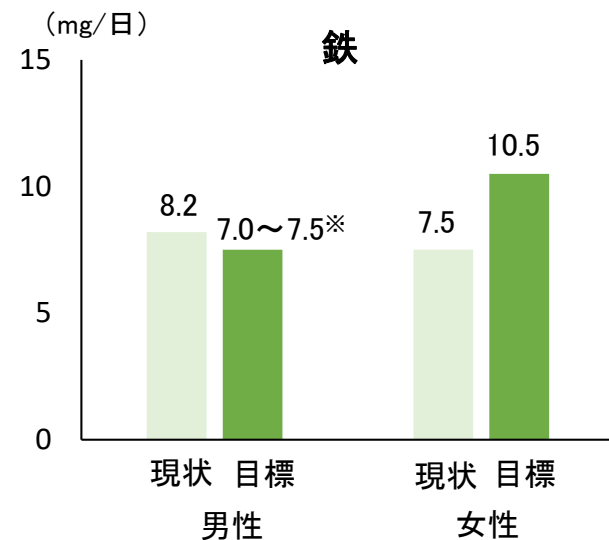
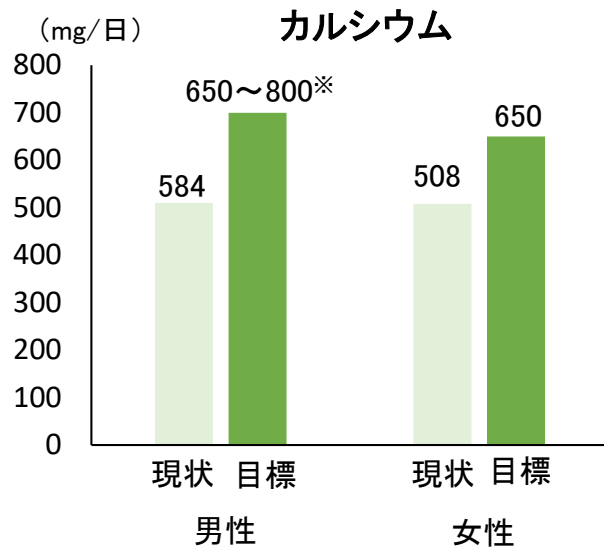
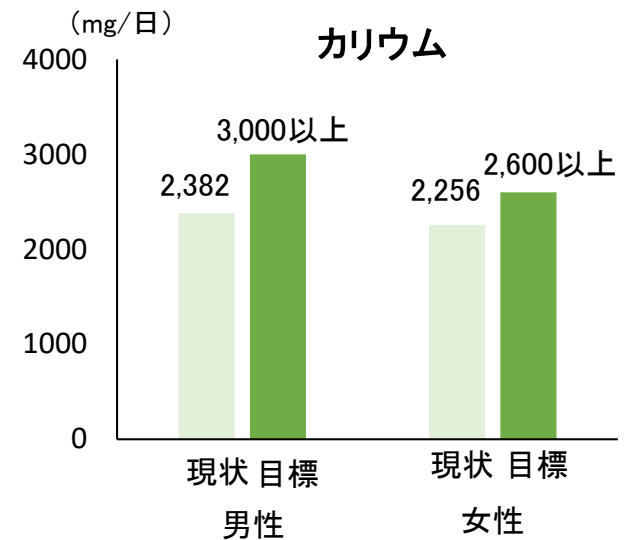
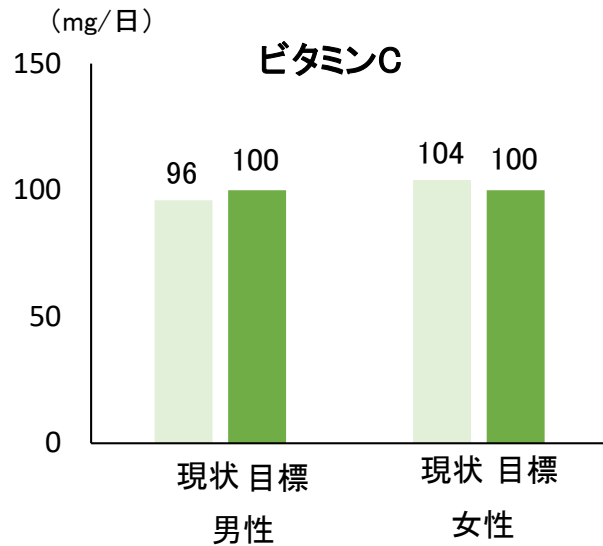
食物繊維摂取量の状況(20歳以上)



※目標は、20～60歳代の値
70歳以上は、男性19g以上、女性17g以上

資料: (現状) 厚生労働省「平成29年国民健康・栄養調査」
(目標) 厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2015年)」

主なビタミン、ミネラル(ビタミンC、カリウム、カルシウム、鉄)の摂取量の状況(20歳以上)

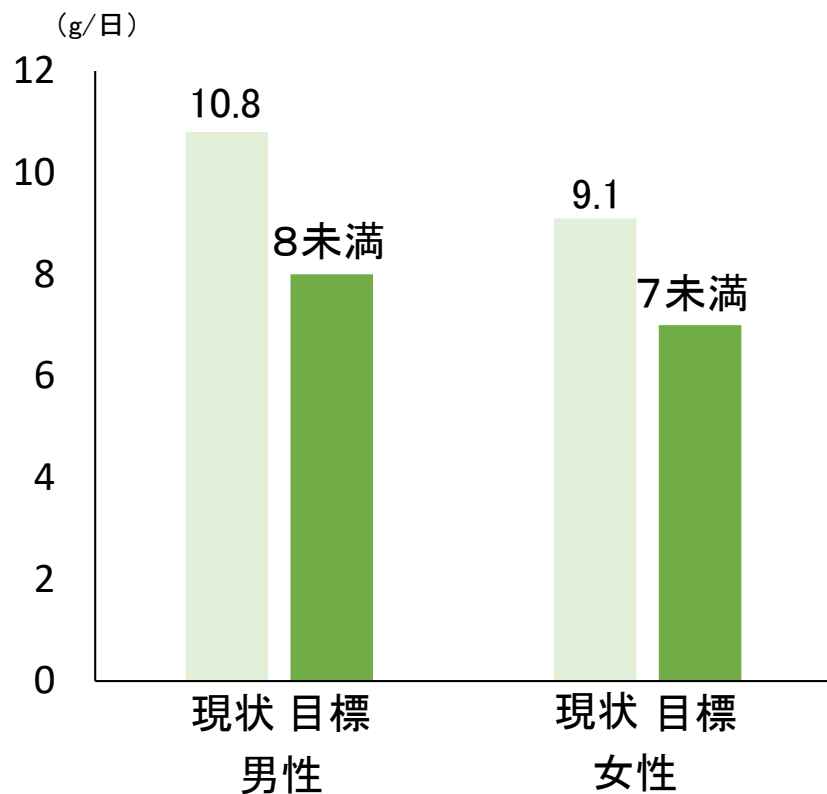


※20～29歳800mg、30～49歳650mg、50歳以上700mg

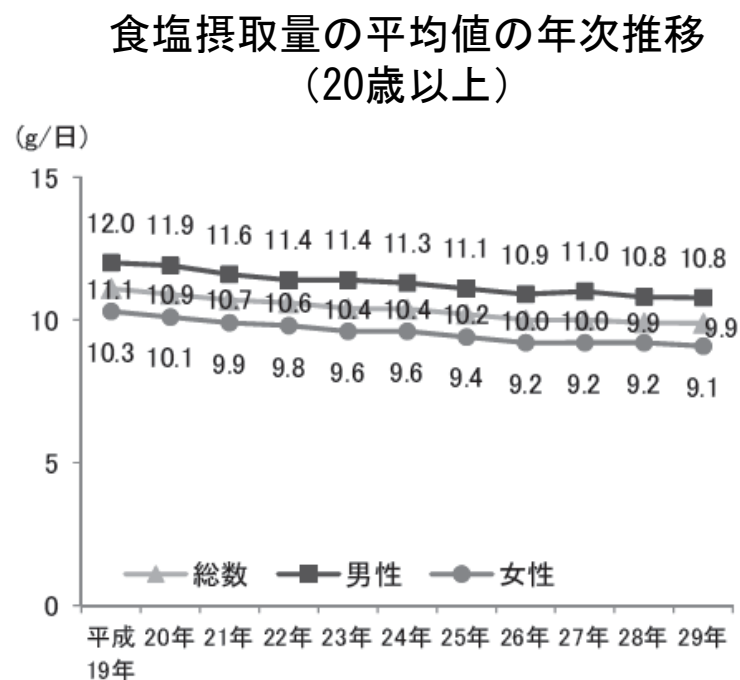
※20～29歳及び70歳以上7.0mg、30～69歳7.5mg

資料：(現状)厚生労働省「平成29年国民健康・栄養調査」
(目標)厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2015年)」

食塩摂取量の状況(20歳以上)

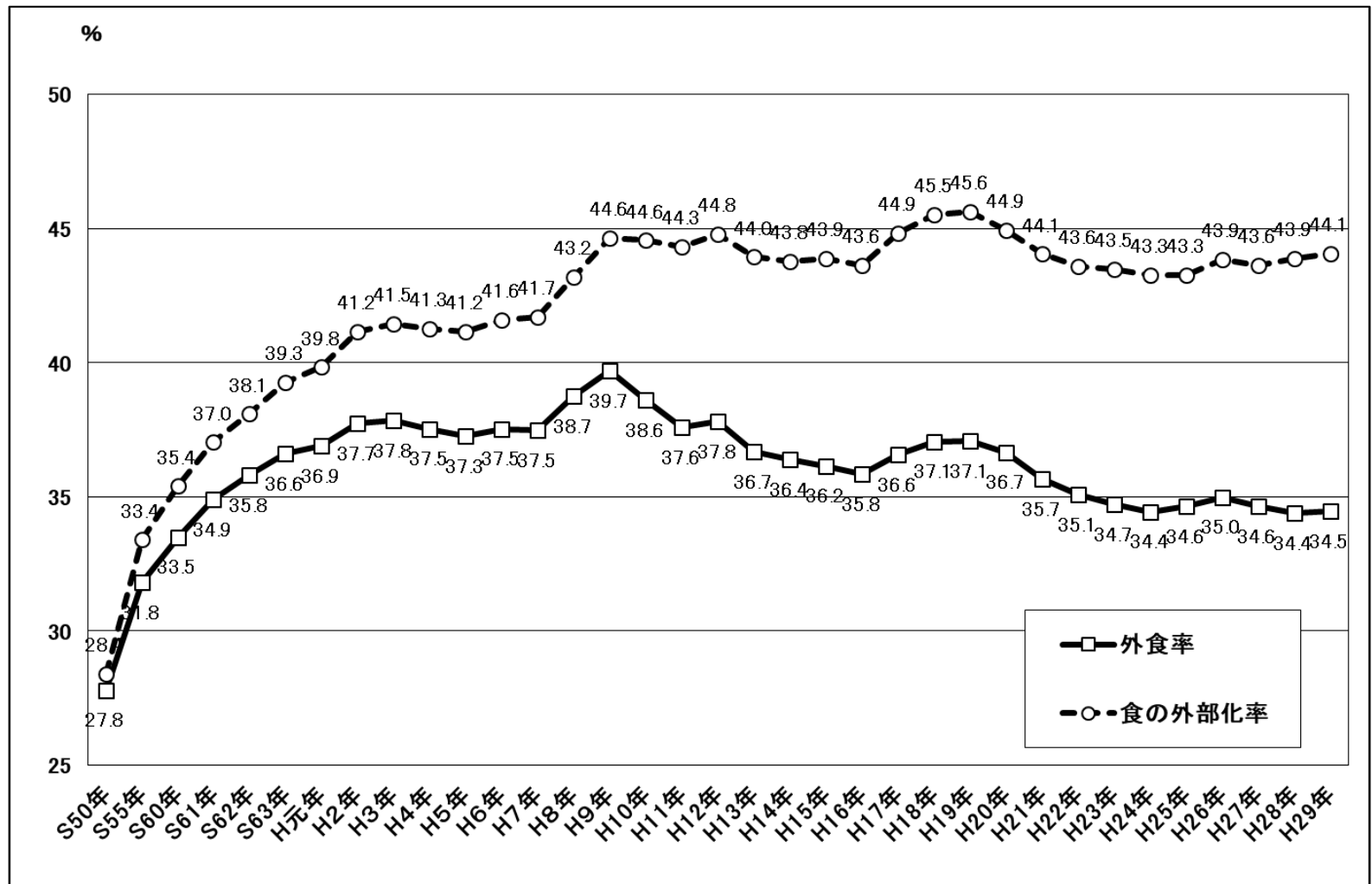


資料: (現状)厚生労働省「平成29年国民健康・栄養調査」
(目標)厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2015年)」



出典: 厚生労働省「平成29年国民健康・栄養調査」

3. 栄養・食生活に関する状況 消費の状況



出典：公益財団法人 食の安心安全財団 <http://www.anan-zaidan.or.jp/data/index.html>

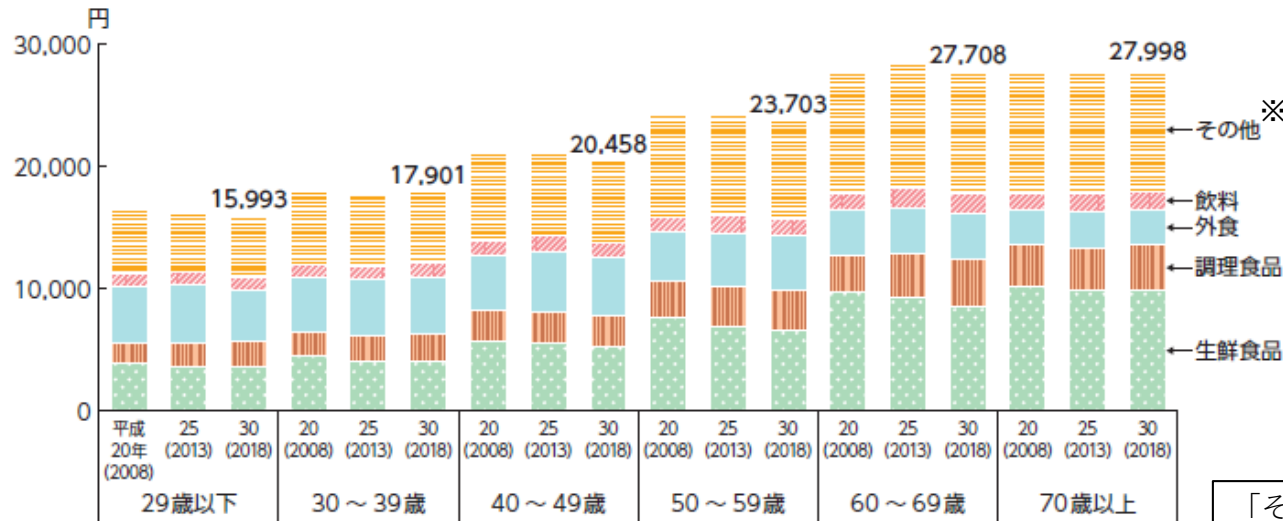
内閣府「国民経済計算」、日本たばこ協会調べ、日本フードサービス協会調べ

外食率：全国の食料・飲料支出額に占める外食市場規模の割合

食の外部化率：全国の食料・飲料支出額に占める料理品小売業市場規模（弁当給食分）及び食市場規模の割合

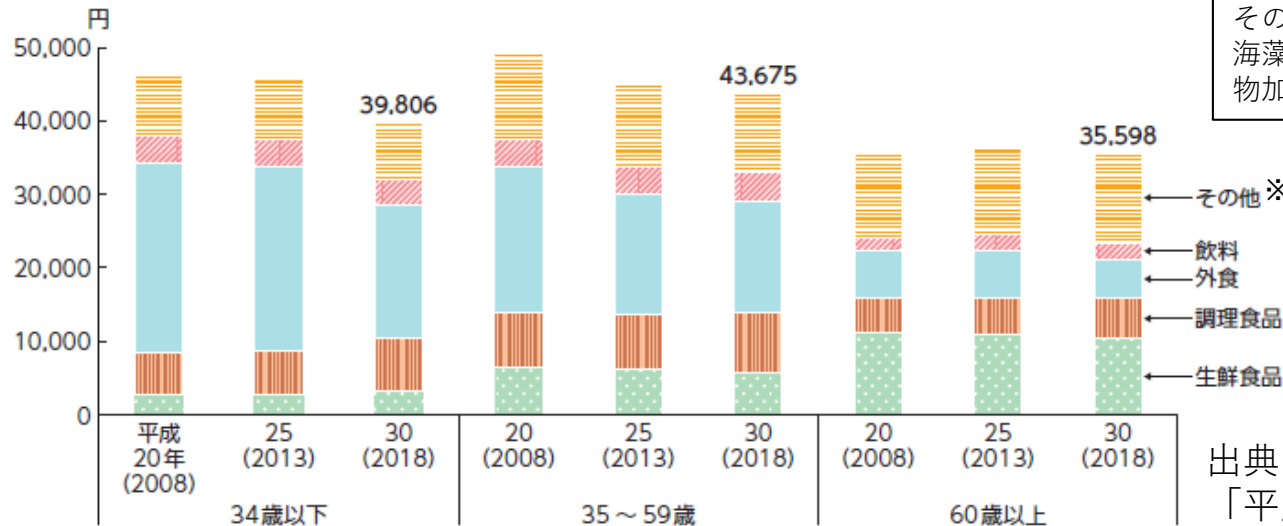
世帯主の年齢別に見た品目別食料消費支出（１人当たり１か月間）

（二人以上の世帯）



「その他※」に含まれる食品は以下のとおり
 （平成30年度 食料・農業・農村白書）
 パン、麺類、他の穀類、塩干魚介、魚肉練製品、
 その他の魚介加工品、加工肉、乳製品、乾物・
 海藻、大豆加工品、他の野菜・海藻加工品、果
 物加工品、油脂・調味料、菓子類、酒類

（単身世帯）



出典：農林水産省

「平成30年度 食料・農業・農村白書」
http://www.maff.go.jp/j/wpaper/w_maff/h30/attach/pdf/zenbun-16.pdf

資料：総務省「家計調査」（全国・用途分類）

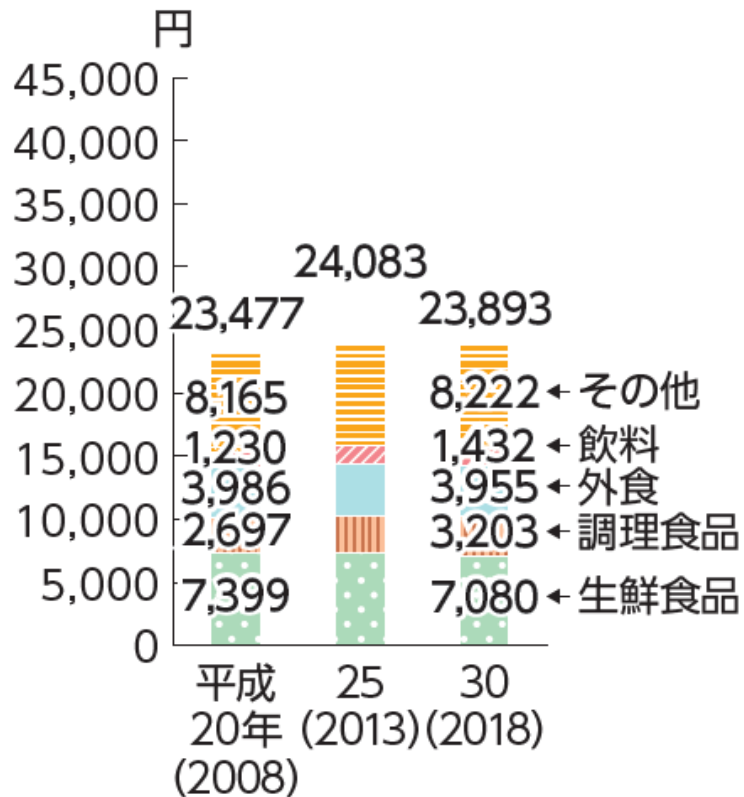
注：1）生鮮食品は、米、生鮮魚介、生鮮肉、牛乳、卵、生鮮野菜、生鮮果物の合計

2）消費者物価指数（食料：平成27（2015）年基準）を用いて物価の上昇・下落の影響を取り除いた数値

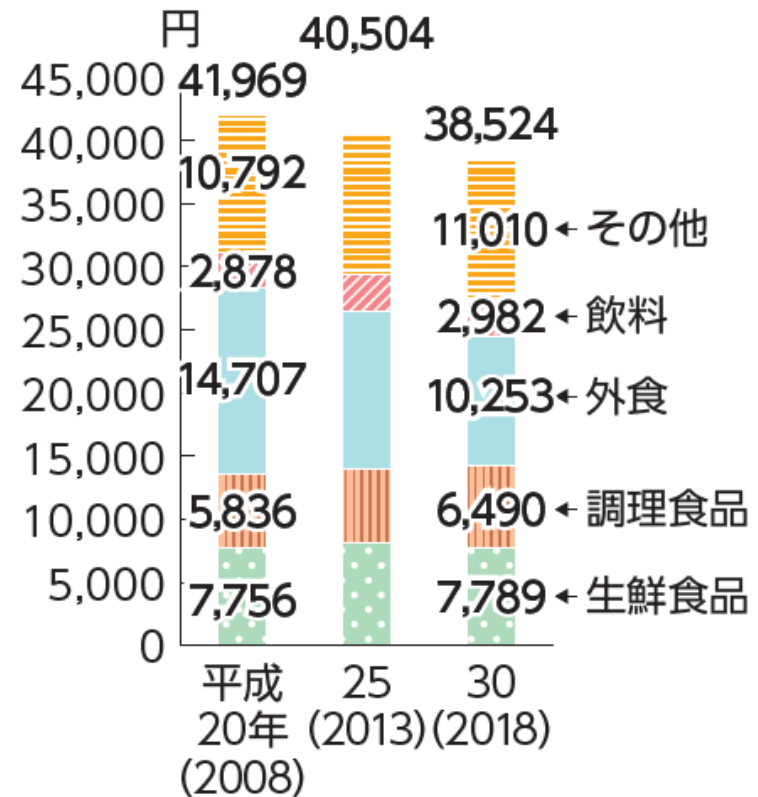
3）世帯員数で除した1人当たりの数値

品目別食料消費支出（1人当たり1か月間）

（二人以上の世帯）



（単身世帯）



資料：総務省「家計調査」（全国・用途分類）

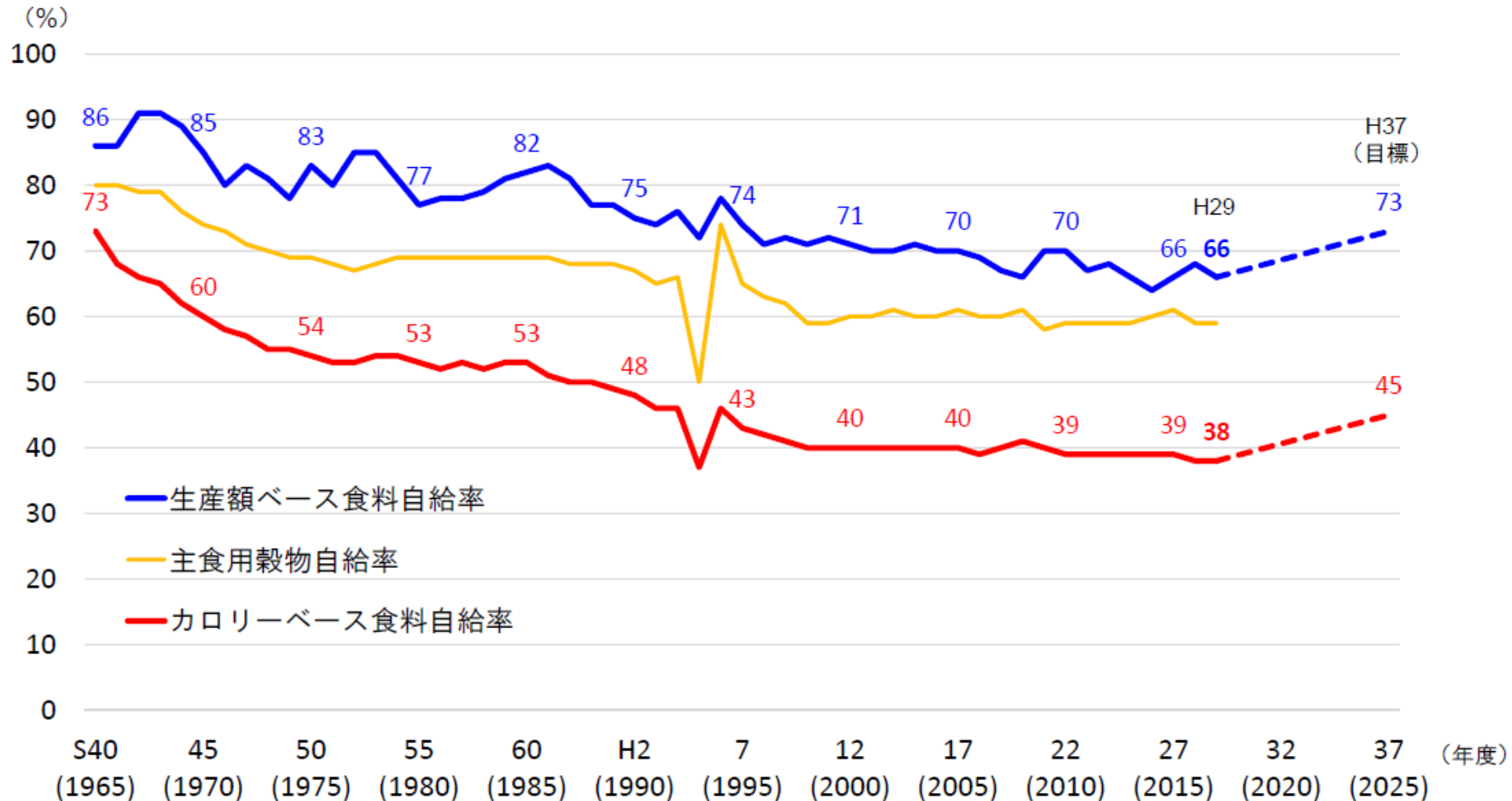
注：1）生鮮食品は、米、生鮮魚介、生鮮肉、牛乳、卵、生鮮野菜、生鮮果物の合計

2）消費者物価指数（食料：平成27（2015）年基準）を用いて物価の上昇・下落の影響を取り除いた数値

3）二人以上の世帯は、世帯員数で除した1人当たりの数値

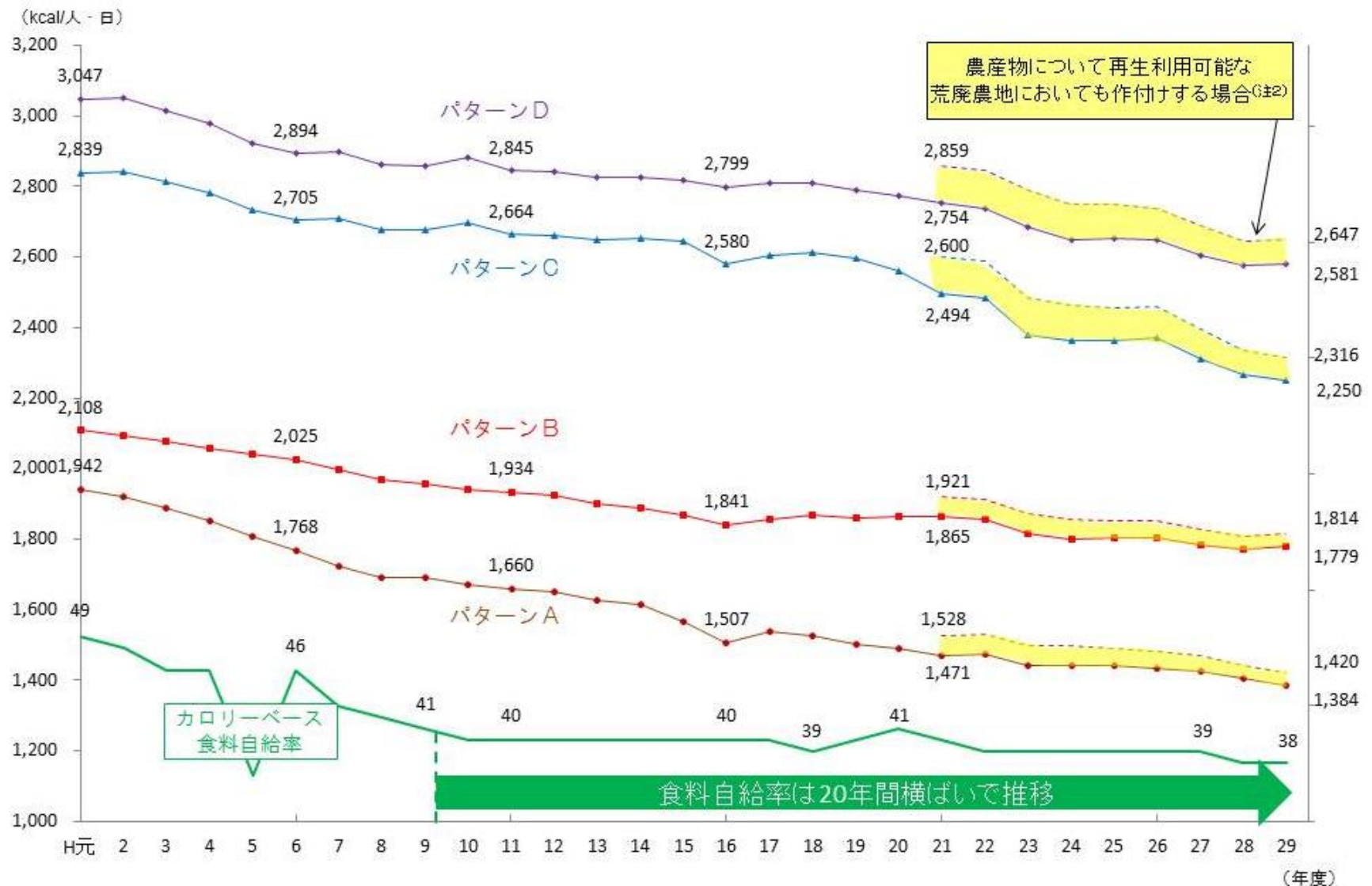
4. 食料資源の状況

日本の食料自給率の推移



出典：農林水産省ホームページ
http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/zikyu_ritu/012_1.html

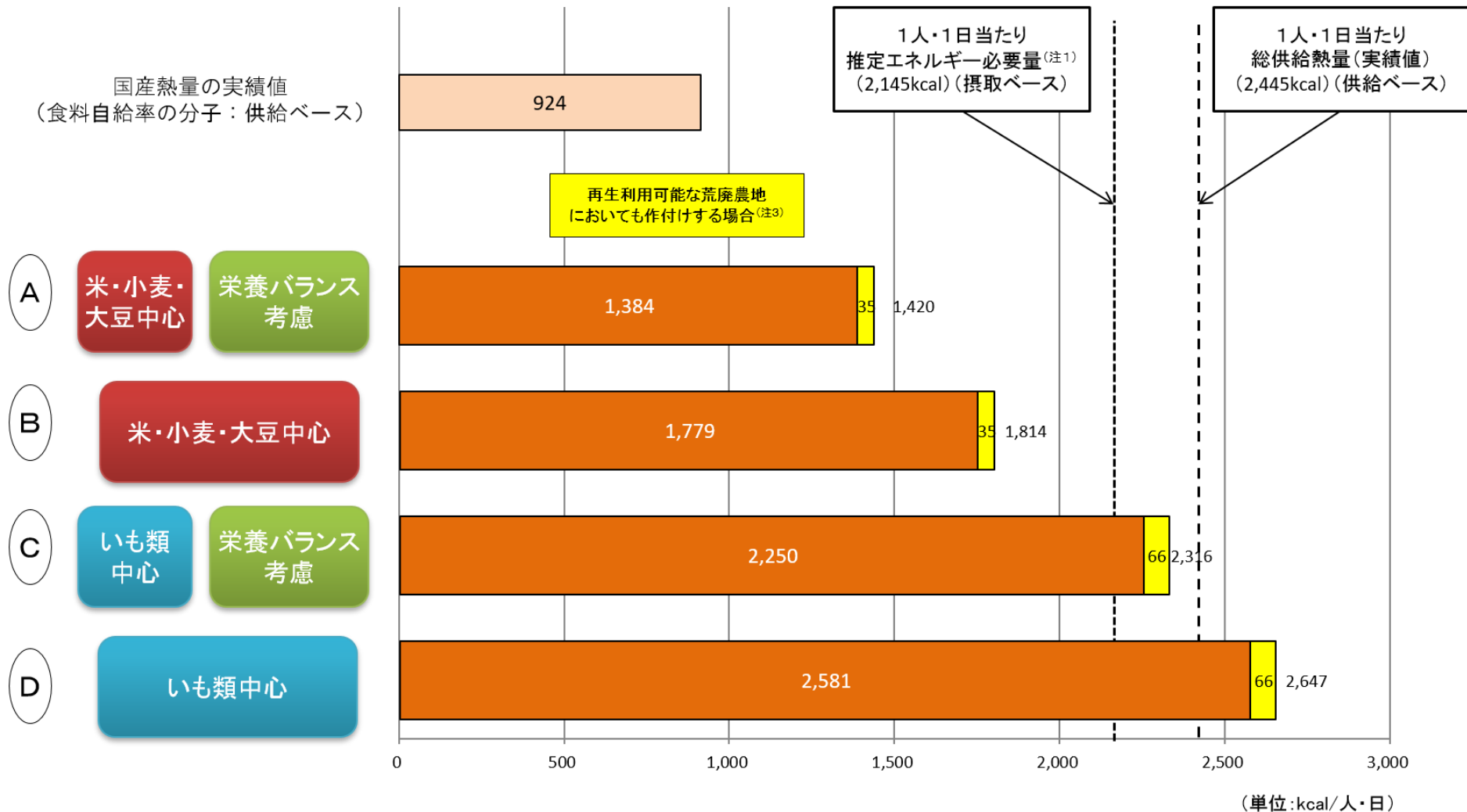
日本の食料自給力の推移



出典：農林水産省ホームページ

http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/zikyu_ritu/012_1.html

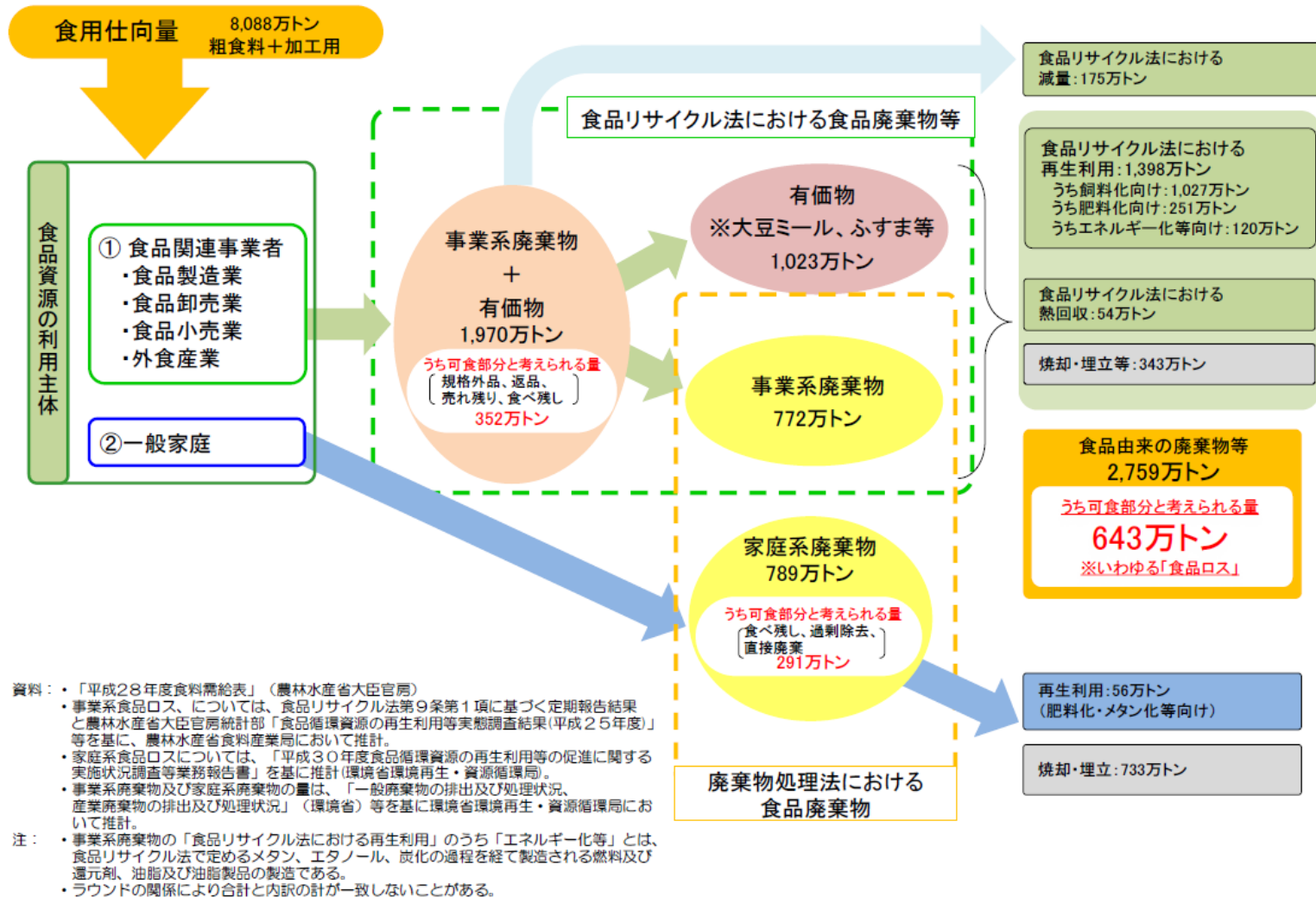
食料自給力指標（平成29年度）



出典：農林水産省ホームページ
http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/zikyu_ritu/012_1.html

食品ロスの現状

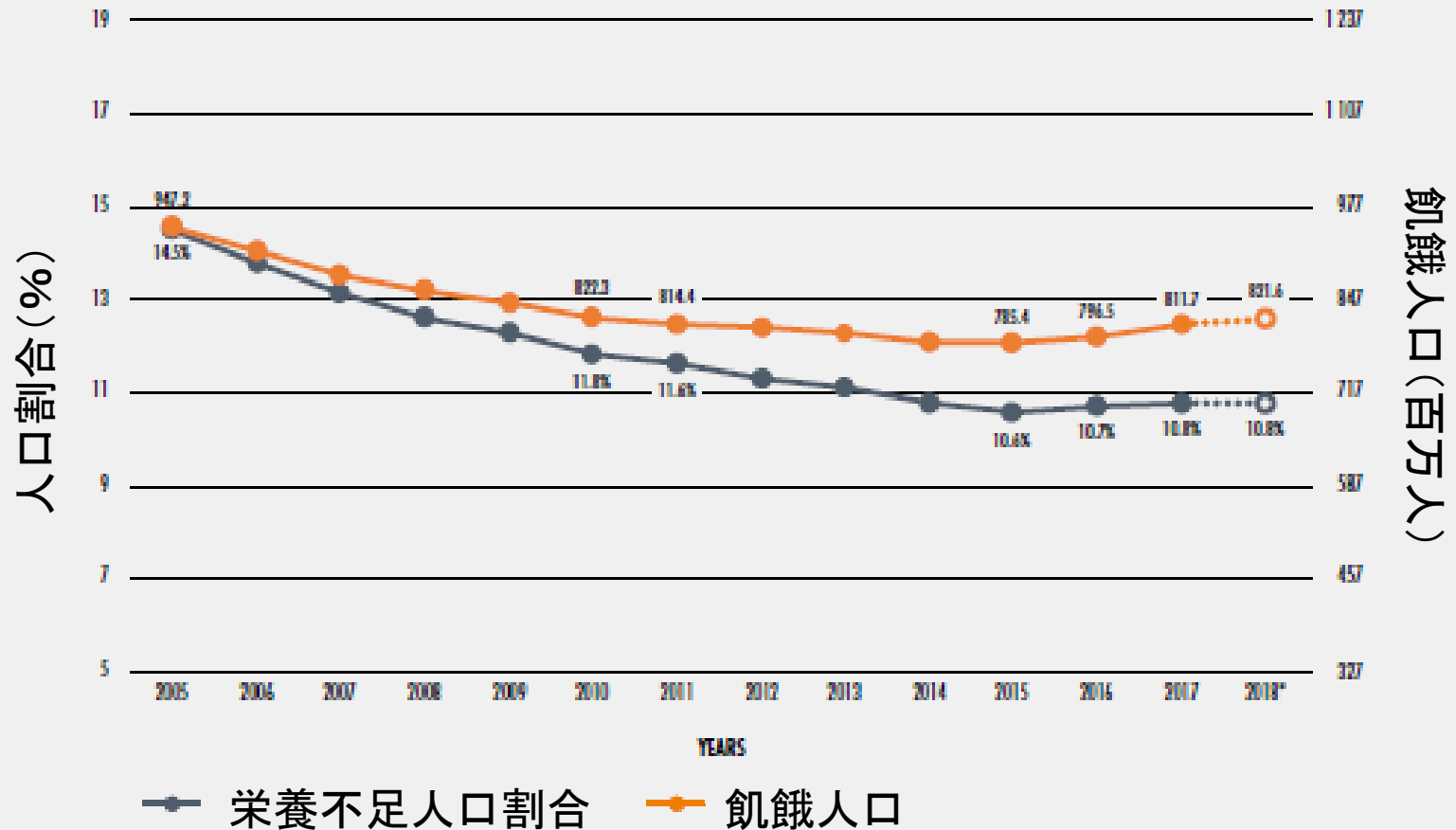
食品廃棄物等の利用状況等(平成28年度推計)＜概念図＞



出典：環境省「食品廃棄物等の利用状況等（190401公表：平成28年度推計）」

http://www.env.go.jp/recycle/H28_flow.pdf

飢餓人口の推移



NOTES: * Values for 2018 are projections as illustrated by dotted lines and empty circles. The entire series was carefully revised to reflect new information made available since the publication of the last edition of the report; it replaces all series published previously. See Box 2.
SOURCE: FAO.

出典：FAO

<http://www.fao.org/3/ca5162en/ca5162en.pdf#page=30>